

加治木温泉病院

2021 年度 医療法人玉昌会 加治木温泉病院

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療及び介護サービスを提供します

《基本方針》

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重します
2. 患者さんの視点に立ち、安心・安全な治療に努めます
3. 地域包括ケアシステムを基に、全世代に生活支援サービスを提供します
4. 『健康経営宣言』に則り、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 地域住民や職員の健診事業や健康増進事業に取り組みます

《運営方針》

1. 患者さんの医療・介護の質の確保と安全に努めます
2. 慢性腎臓病（CKD）を中心とした腎疾患診療部門の充実を図ります
3. 健診事業による5疾病の未病・予防に取り組みます
4. 『健康経営宣言』に則り、療養・職場環境の改善に努めます
5. 人財の確保および育成に努めます
6. 地域共生社会の実現に取り組みます
7. 地域のニーズにあった病院機能の見直しを行います。
8. 将来の病院機能を見据えた病床機能の再編に取り組みます
9. 病院の新築移転に向けての取り組みを進めます

加治木温泉病院の沿革

加治木温泉病院の沿革

- 1978 年 6 月 加治木温泉病院開設 病床数 100 床
- 1985 年 7 月 増改築により増床 人工腎臓センター開設・人工透析開始
- 1989 年 7 月 C T ・ M R I 導入
- 1994 年 5 月 人工腎臓センターを別棟として増設
- 1997 年 11 月 浴室・管理棟を増設
- 1997 年 12 月 350 床に増築
- 1998 年 12 月 療養二群入院医療管理（Ⅰ）基準承認
療養型病床群療養環境（Ⅱ）（Ⅲ）基準承認
- 1999 年 6 月 総合リハビリテーション施設承認
- 2000 年 2 月 介護療養型医療施設承認（91 床）
- 2001 年 4 月 療養病棟入院基本料Ⅰ基準承認
介護療養型医療施設 117 床に増床
療養型病床群療養環境（Ⅰ）（Ⅱ）基準承認
- 2001 年 5 月 回復期リハビリテーション病棟基準承認（54 床）
- 2002 年 4 月 地域リハビリテーション広域支援センター認定
- 2002 年 5 月 日本医療機能評価機構「認定証」取得
- 2002 年 10 月 特殊疾患療養病棟入院料 2 基準承認
- 2007 年 5 月 日本医療機能評価機構「V e r . 5 認定証」取得
- 2008 年 12 月 日本医療機能評価付加機能（リハビリテーション機能）認定
- 2009 年 1 月 一般病棟入院基本料（13：1）承認（30 床）
- 2009 年 2 月 亜急性期入院医療管理料（Ⅰ）承認（10 床）
- 2010 年 2 月 介護療養型医療施設（57 床）
療養病棟入院基本料 2（149 床）
- 2010 年 4 月 療養病棟入院基本料 1（119 床）
療養病棟入院基本料 2（90 床）
- 2010 年 10 月 国土交通省（J C A B）指定航空身体検査機関認定
- 2010 年 11 月 一般病棟入院基本料（13：1）承認（60 床）
療養病棟入院基本料 2（60 床）
- 2010 年 12 月 16 列マルチスライス C T 装置導入
- 2012 年 5 月 日本医療機能評価機構「V e r . 6 認定証」取得
- 2013 年 4 月 日本慢性期医療協会「慢性期医療認定病院」認定

- 2013 年 8 月 持続性推進機構「エコアクション 21」認定
- 2013 年 12 月 日本医療機能評価機構付加機能（リハビリテーション機能 Ver. 3. 0）認定
- 2014 年 10 月 外科・消化器外科開設
- 2014 年 12 月 在宅療養後方支援病院基準承認
- 2015 年 1 月 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 承認（54 床）
- 2015 年 2 月 アメリカ連邦航空局（F A A）指定航空身体検査機関認定
- 2015 年 3 月 電子カルテ導入
- 2015 年 4 月 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 体制強化加算承認
標榜科目に神経内科、頭頸部外科を追加
- 2015 年 5 月 一般病棟（13：1）60 床を地域包括ケア病棟入院料 2 へ転換
- 2015 年 6 月 がん患者リハビリテーション料承認
- 2015 年 7 月 地域包括ケア病棟入院料 1 承認
- 2015 年 11 月 介護療養型医療施設（57 床）療養機能強化型 B 承認
- 2015 年 12 月 介護療養型医療施設（57 床）療養機能強化型 A 承認
- 2016 年 1 月 標榜科目に肝臓内科を追加
- 2016 年 9 月 開放型病院基準承認
- 2017 年 3 月 日本医療機能評価機構「3rd G：Ver. 1. 1 認定証」取得
- 2017 年 12 月 超電導型 MRI 装置（1. 5T）導入
- 2018 年 4 月 皮膚科外来開設
- 2018 年 5 月 救急告示病院指定
- 2018 年 6 月 整形外科開設
- 2018 年 7 月 神経内科を脳神経内科へ変更
- 2018 年 12 月 介護療養型医療施設（57 床）を介護医療院へ転換
- 2019 年 4 月 日本医療機能評価機構付加機能（リハビリテーション機能 Ver. 3. 0）更新
- 2019 年 8 月 介護医療院 80 床へ（23 床増床）
歯科用 CT の導入
- 2019 年 12 月 療養病棟入院基本料 2 を地域一般入院料 3 へ転換
- 2020 年 1 月 脳神経外科を開設
- 2020 年 4 月 国土交通省 短期入院協力病院 認定
- 2020 年 11 月 診療・検査医療機関 指定
- 2021 年 5 月 地域一般入院料 3（37 床） → 1 へ転換

加治木温泉病院 2021 年度概要

名 称 医療法人玉昌会 加治木温泉病院

所 在 地 〒899-5241

鹿児島県始良市加治木町木田 4714

TEL (0995) 62-0001 FAX (0995) 62-3778

開 設 者 理事長 高田 昌実

管 理 者 病院長 夏越 祥次

診 療 科 目 内科 腎臓内科(人工透析) リハビリテーション科 整形外科
脳神経内科 脳神経外科 消化器内科 消化器外科 肝臓内科
循環器内科 外科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 皮膚科 泌尿器科 歯科

病 床 数 270 床

- ・ 地域包括ケア病棟入院料 2 (60 床)
- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 (54 床)
- ・ 療養病棟入院基本料 1 (119 床)
- ・ 地域一般入院料 1 (37 床)

介護医療院 (80 床)

社会保険等指定

健康保険、国民健康保険、労災保険、生活保護、身体障害者福祉法指定医、
結核予防法、原子爆弾被爆者一般疾病医療、自立支援医療

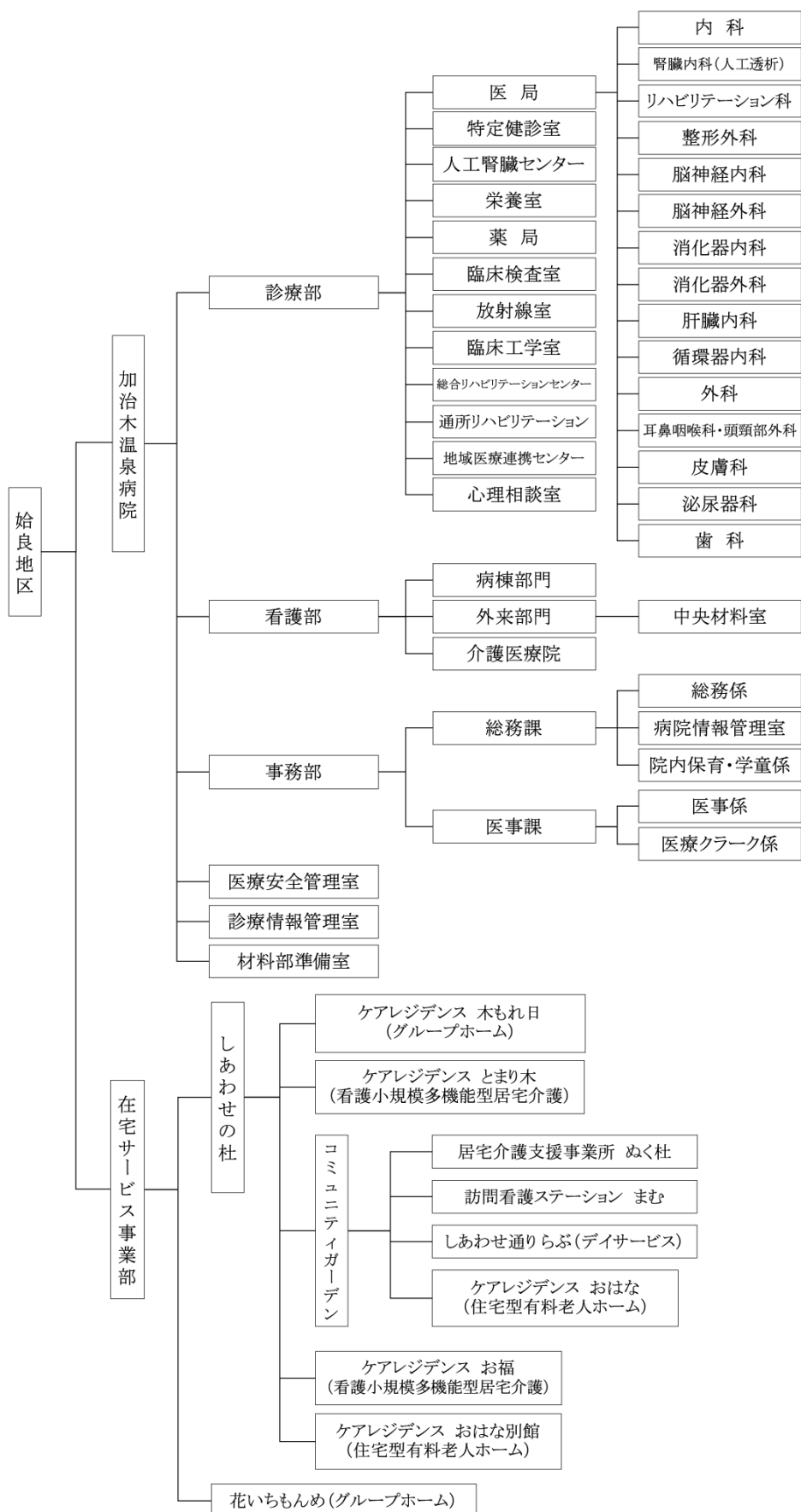
施 設 基 準 療養病棟入院基本料、診療録管理体制加算 2、医師事務作業補助体制加算 1、
療養病棟療養環境加算 1、療養病棟療養環境改善加算 1、栄養サポートチー
ム加算、医療安全対策加算 2、感染防止対策加算 2、総合評価加算、データ
提出加算、入退院支援加算、認知症ケア加算、回復期リハビリテーション
病棟入院料 1、地域包括ケア病棟入院料 2、喘息治療管理料、糖尿病合併症
管理料、糖尿病透析予防指導管理料、ニコチン依存症管理料、開放型病院
共同指導料、排尿自立指導料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料 1、在
宅療養後方支援病院、検体検査管理加算 (I)、神経学的検査、CT 撮影及び
MRI 撮影、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、無菌製剤処理料、脳血管疾患等リハ
ビリテーション料 (I)、運動器リハビリテーション料 (I)、呼吸器リハビ
リテーション料 (I)、がん患者リハビリテーション料、集団コミュニケー
ション療法料、人工腎臓、導入期加算 1、透析液水質確保加算及び慢性維持

透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術、輸血管理料Ⅱ、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)、酸素単価、歯科外来診療環境体制加算1、歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料、歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料、CAD/CAM冠、クラウン・ブリッジ維持管理料、レーザー機器加算、口腔粘膜処置、有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査、歯科口腔リハビリテーション料2、歯周組織再生誘導術

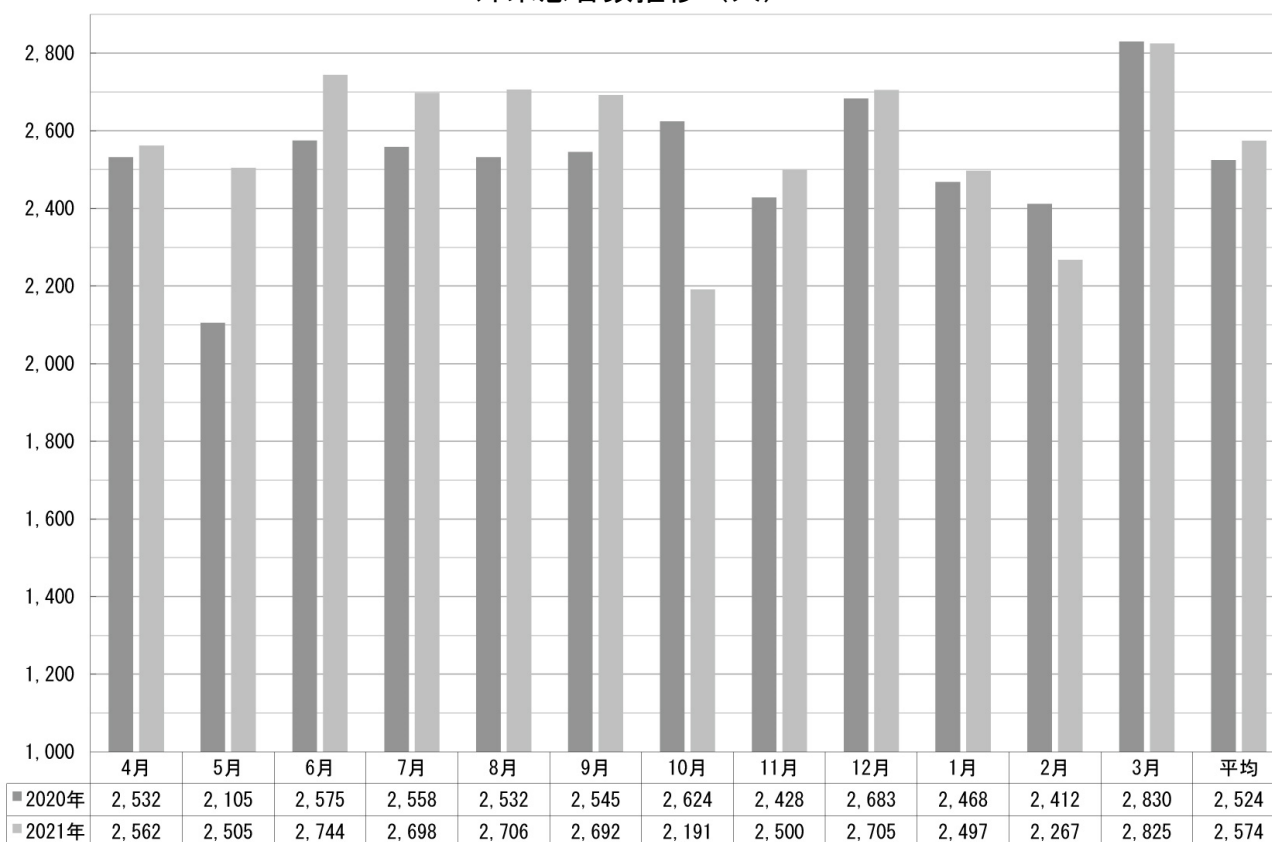
広 報 誌 すこやか加温(年4回発行)

- そ の 他 ・ 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver. 1.1)
- ・ 日本医療機能評価機構付加機能
(リハビリテーション機能 Ver. 3.0 回復期)
 - ・ 慢性期医療認定病院
 - ・ 日本リハビリテーション医学会研修施設
 - ・ 日本温泉気候物医学会専門医教育研修施設
 - ・ 日本透析医学会専門医制度教育関連施設
 - ・ 在宅療養後方支援病院
 - ・ 開放型病院
 - ・ 通所リハビリテーション
 - ・ 訪問リハビリテーション
 - ・ 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター
(脳血管疾患等)
 - ・ 航空身体検査指定機関
(アメリカ連邦航空局指定、国土交通省指定)
 - ・ 消化器・大腸・胃・前立腺がん・肺がん検診精密検査医療機関
 - ・ 肝疾患治療かかりつけ医療機関
 - ・ 難病患者医療等専門医療機関
 - ・ 日帰り人間ドック実施指定病院
 - ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定病院
 - ・ 薬学生長期実務実習受入施設・看護学校実習病院・医療福祉実習病院
 - ・ 持続性推進機構エコアクション21(環境省推奨)認定
 - ・ かごしま子育て応援企業登録
 - ・ 救急告示病院
 - ・ 短期入院協力病院

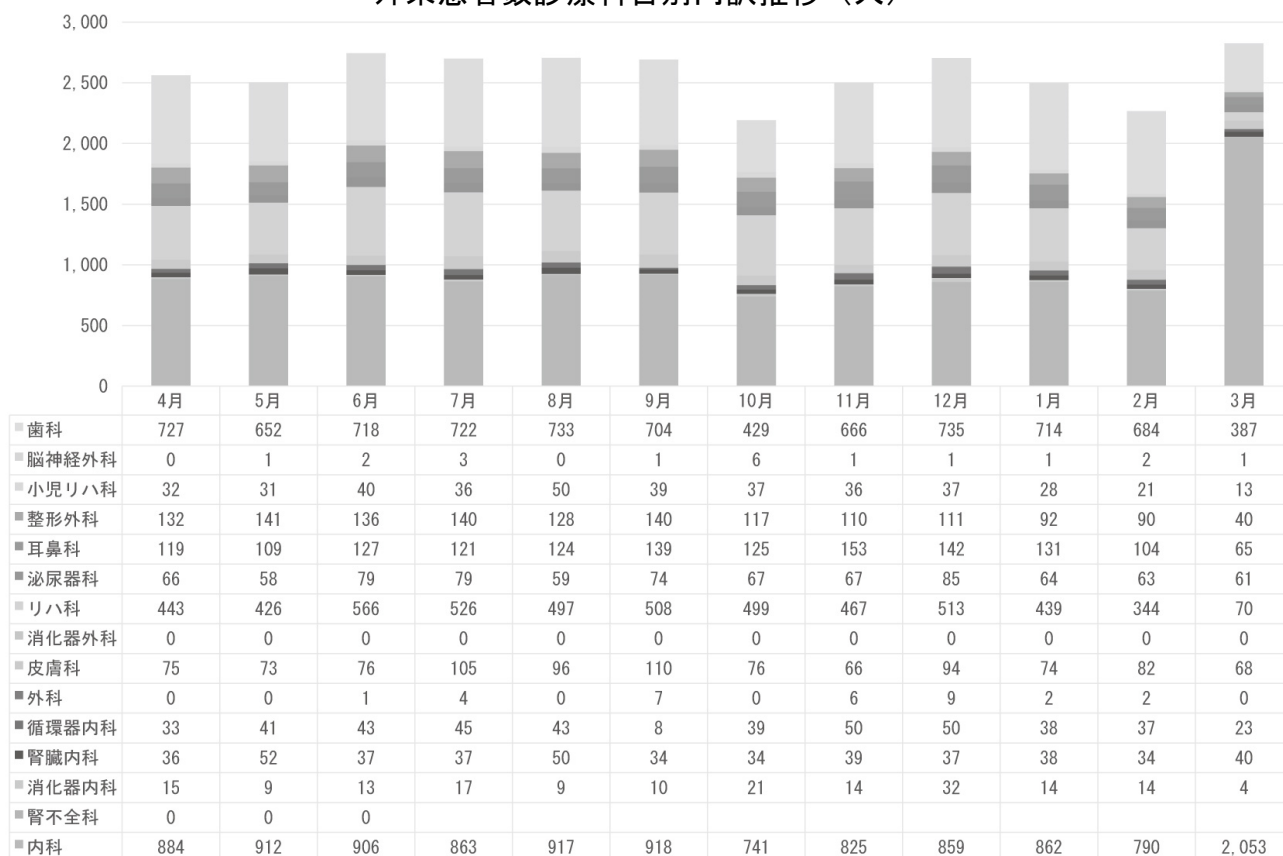
医療法人 玉昌会 始良地区 組織図 2022年3月31日現在



外来患者数推移（人）

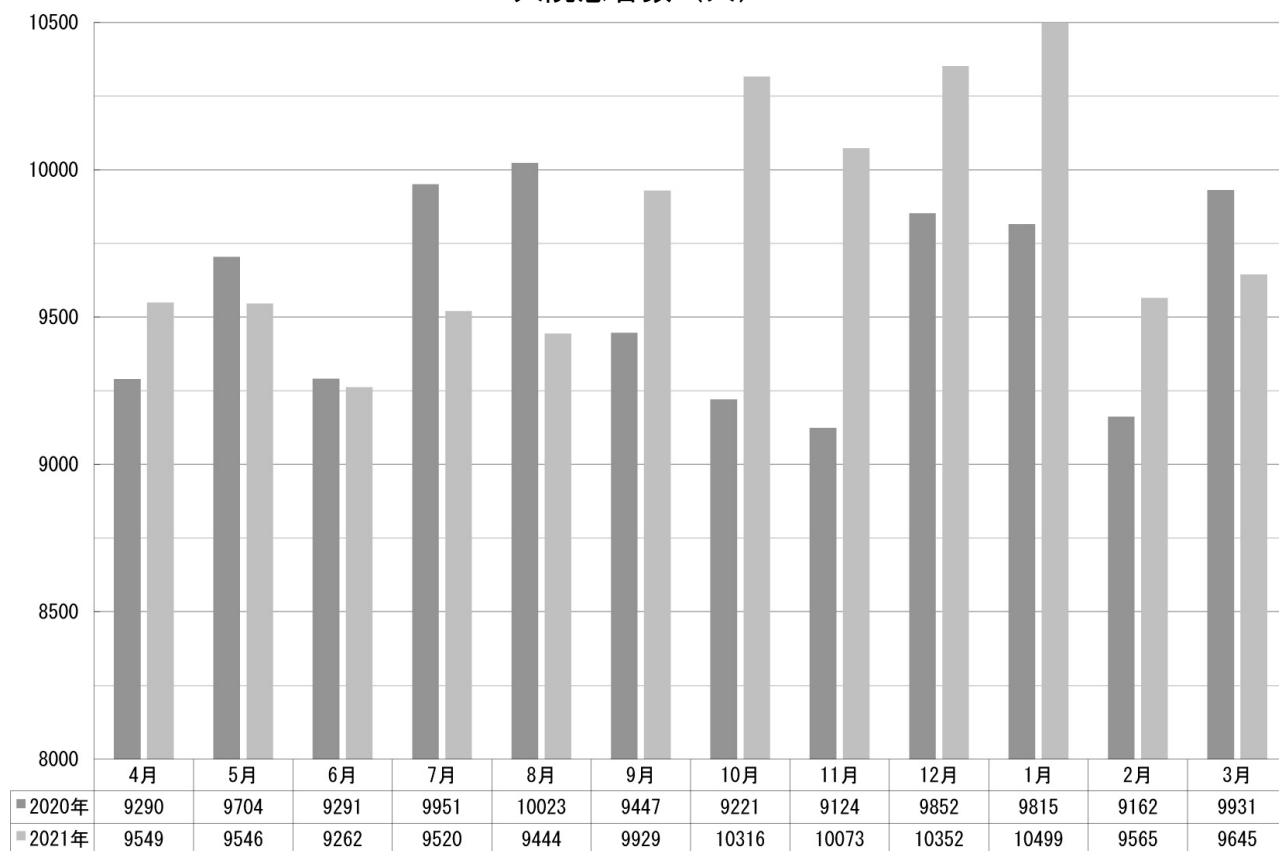


外来患者数診療科目別内訳推移（人）

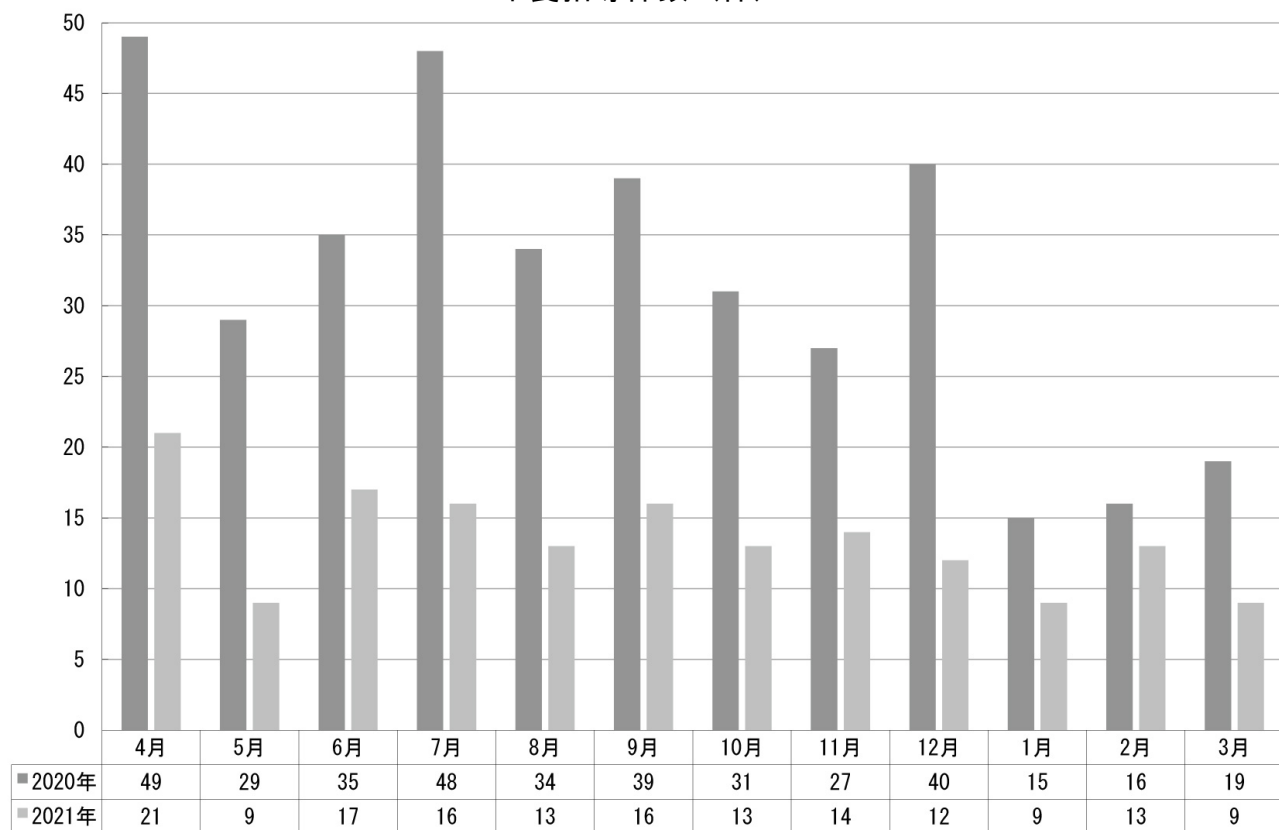


加治木温泉病院 統計

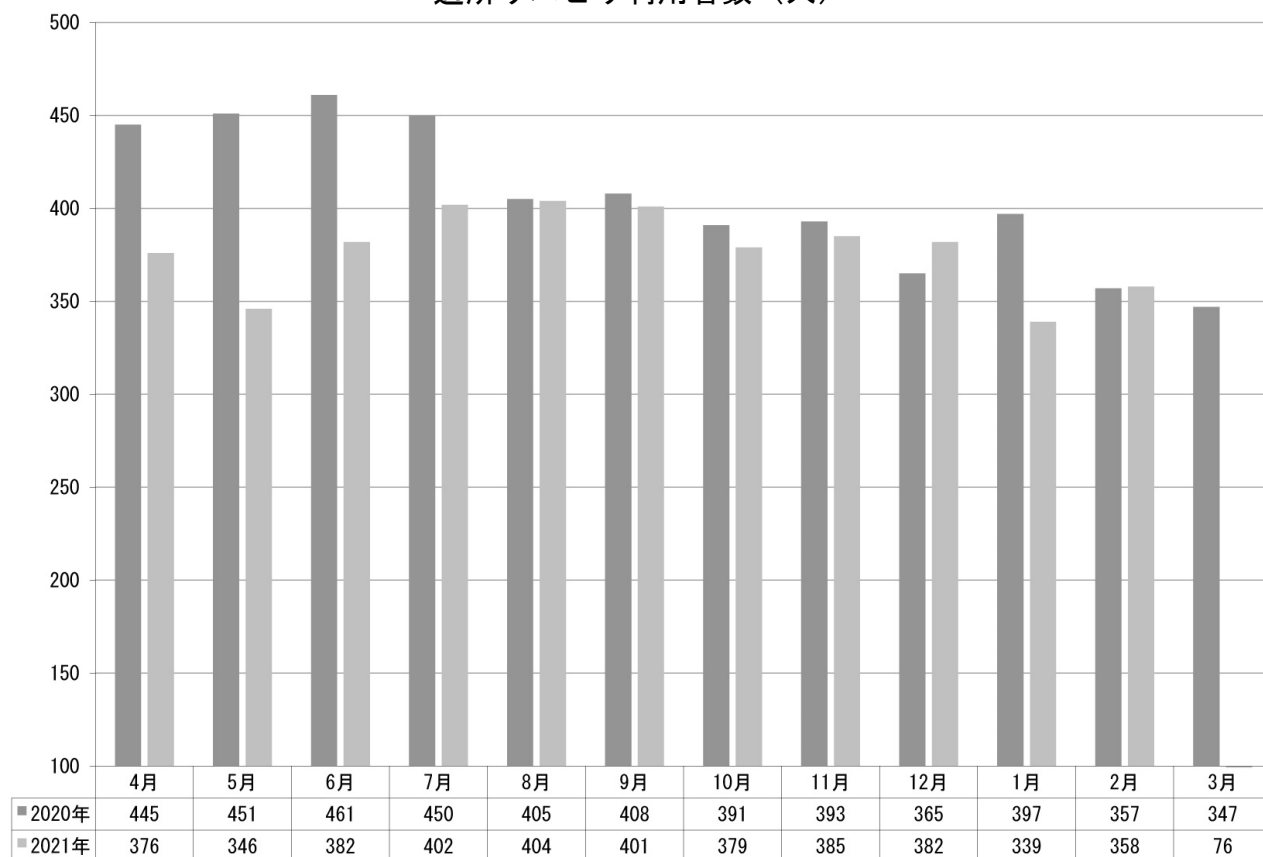
入院患者数（人）



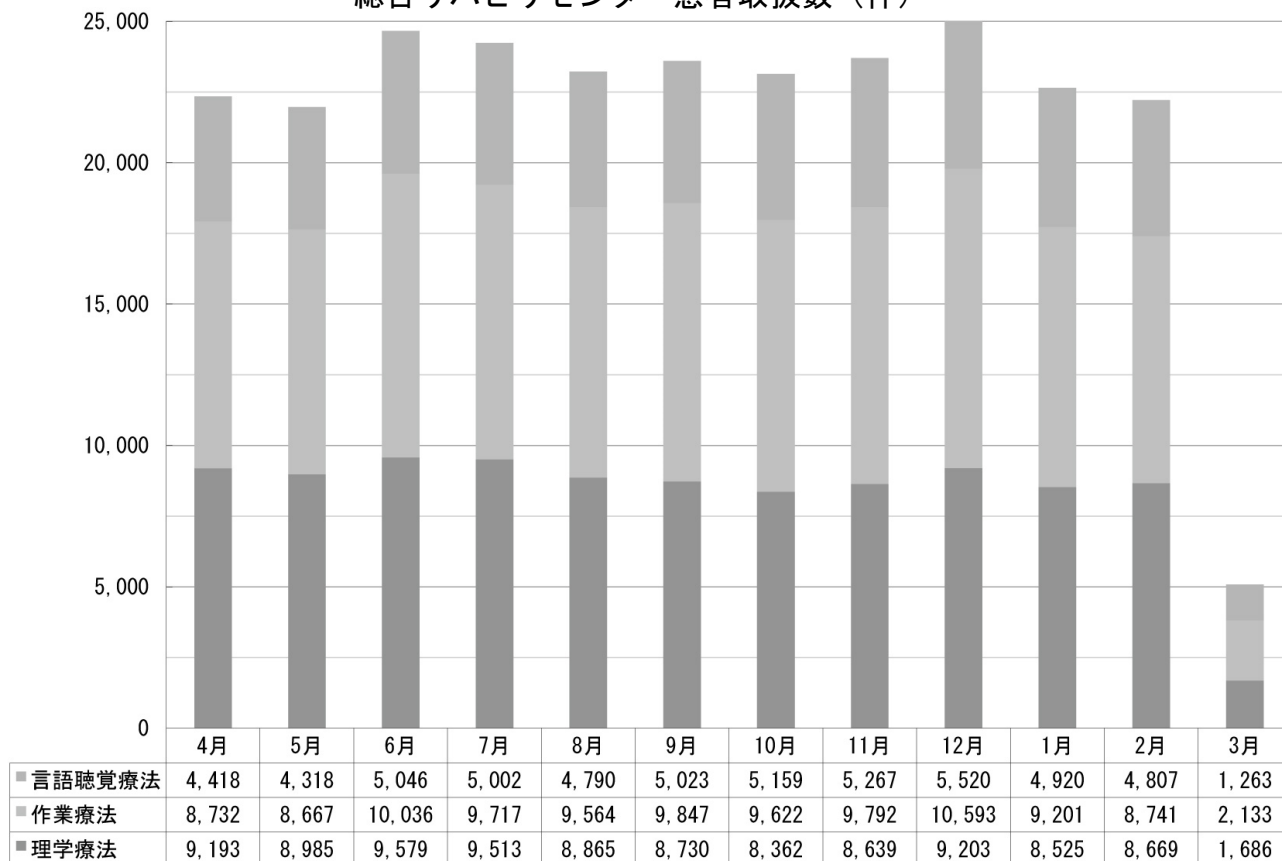
栄養指導件数（件）



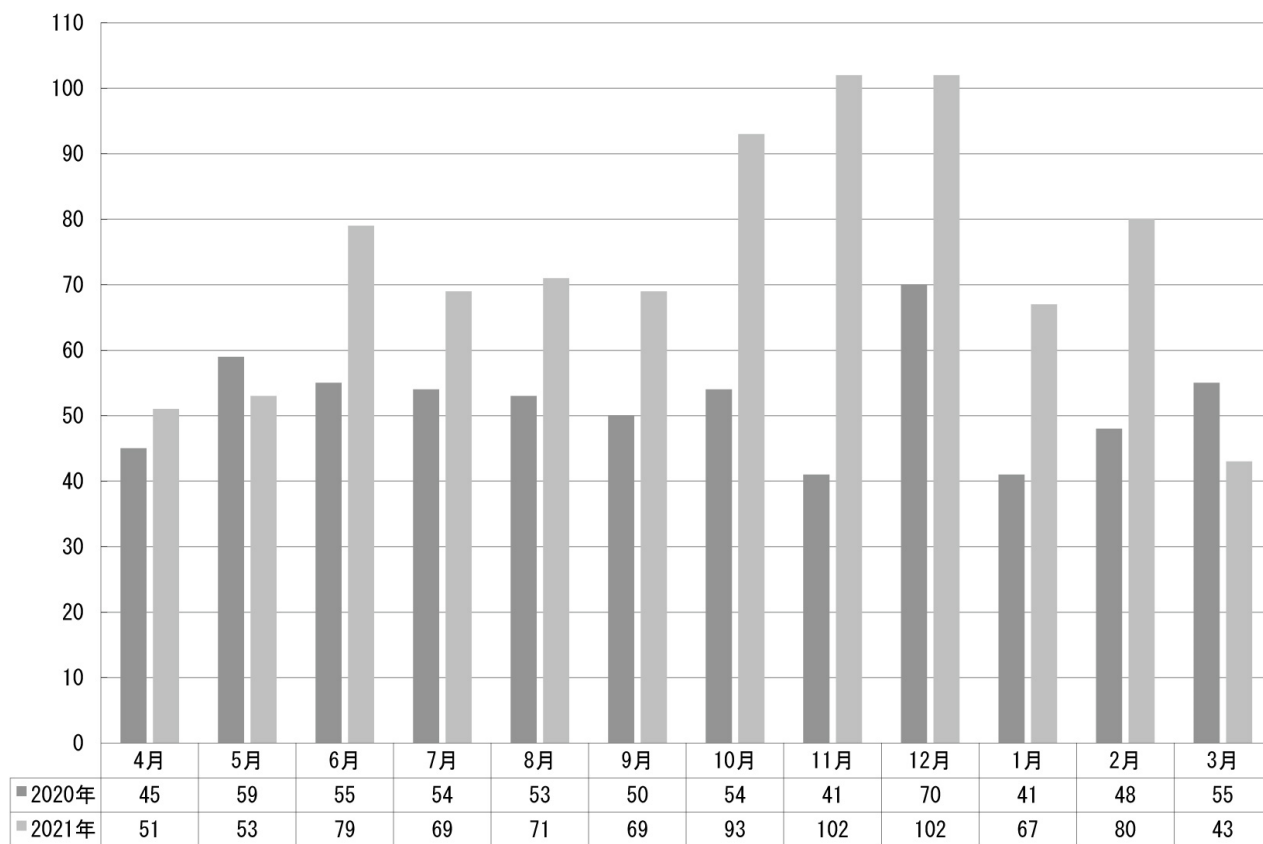
通所リハビリ利用者数（人）



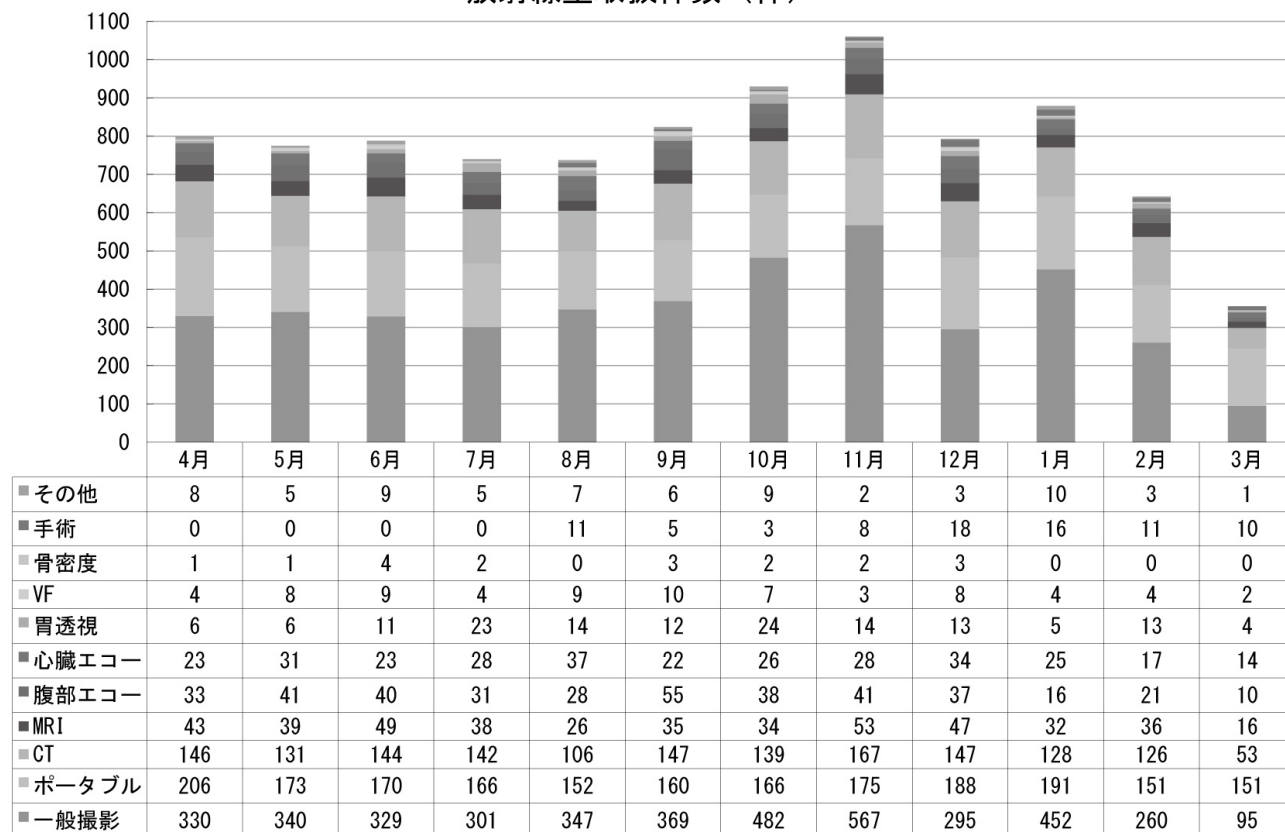
総合リハビリセンター患者取扱数（件）



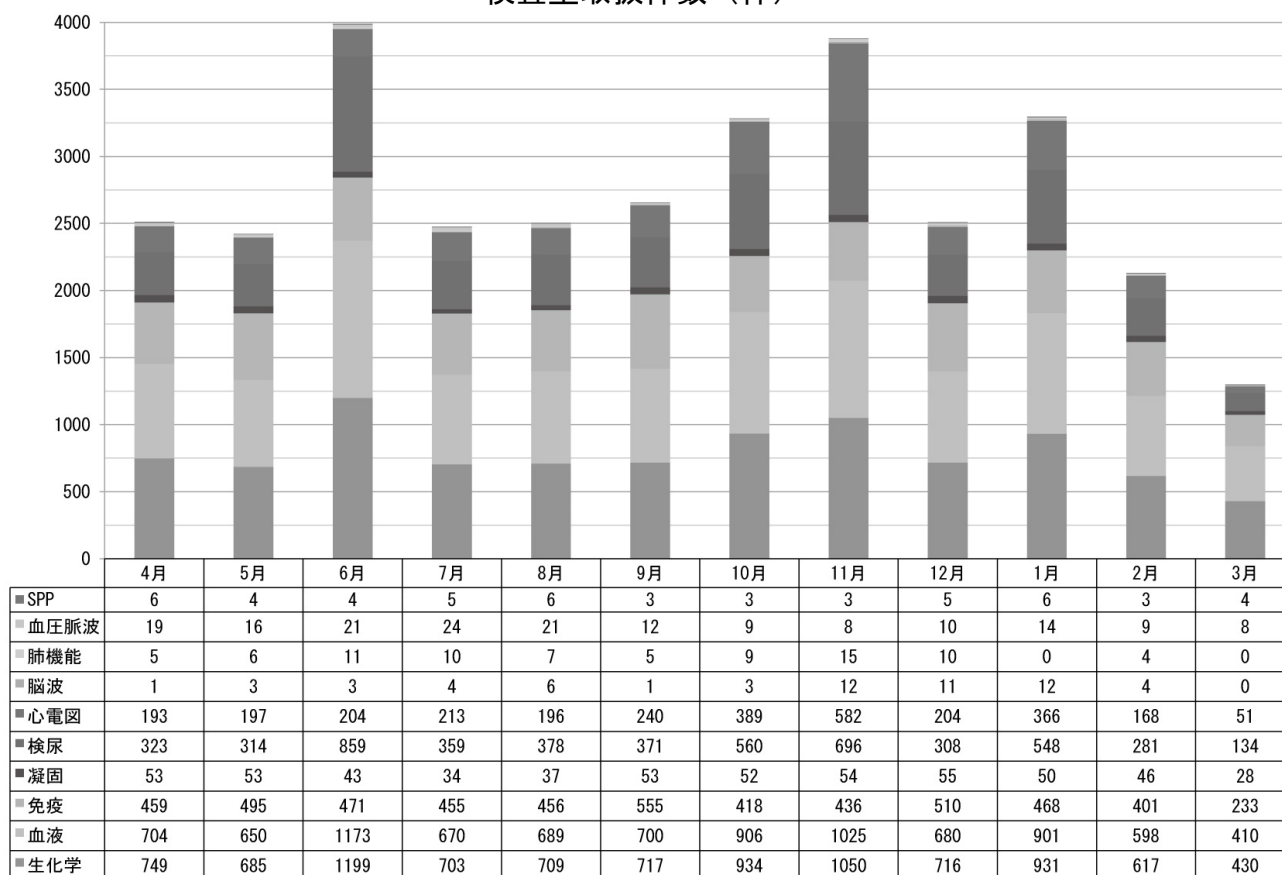
服薬指導件数（件）



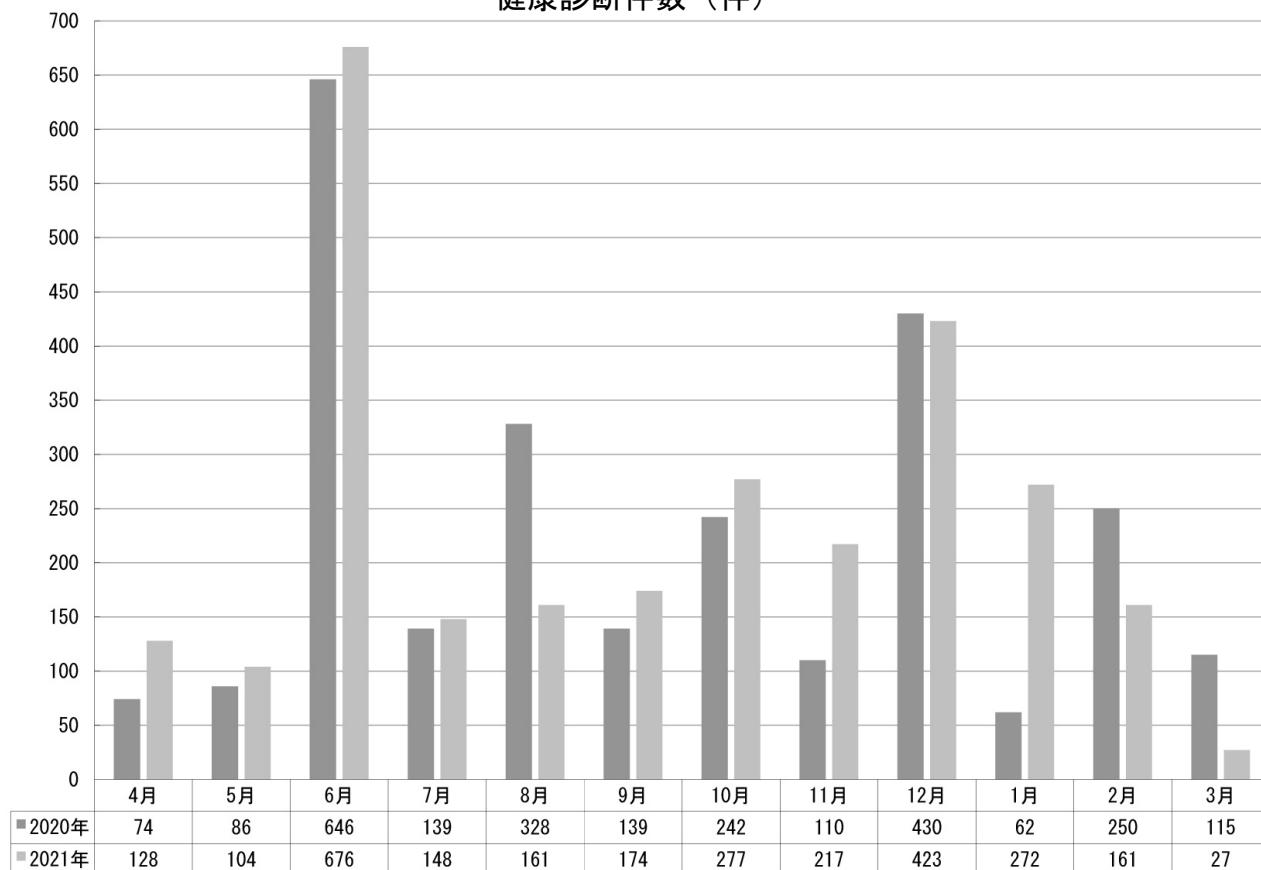
放射線室取扱件数（件）



検査室取扱件数（件）



健康診断件数（件）

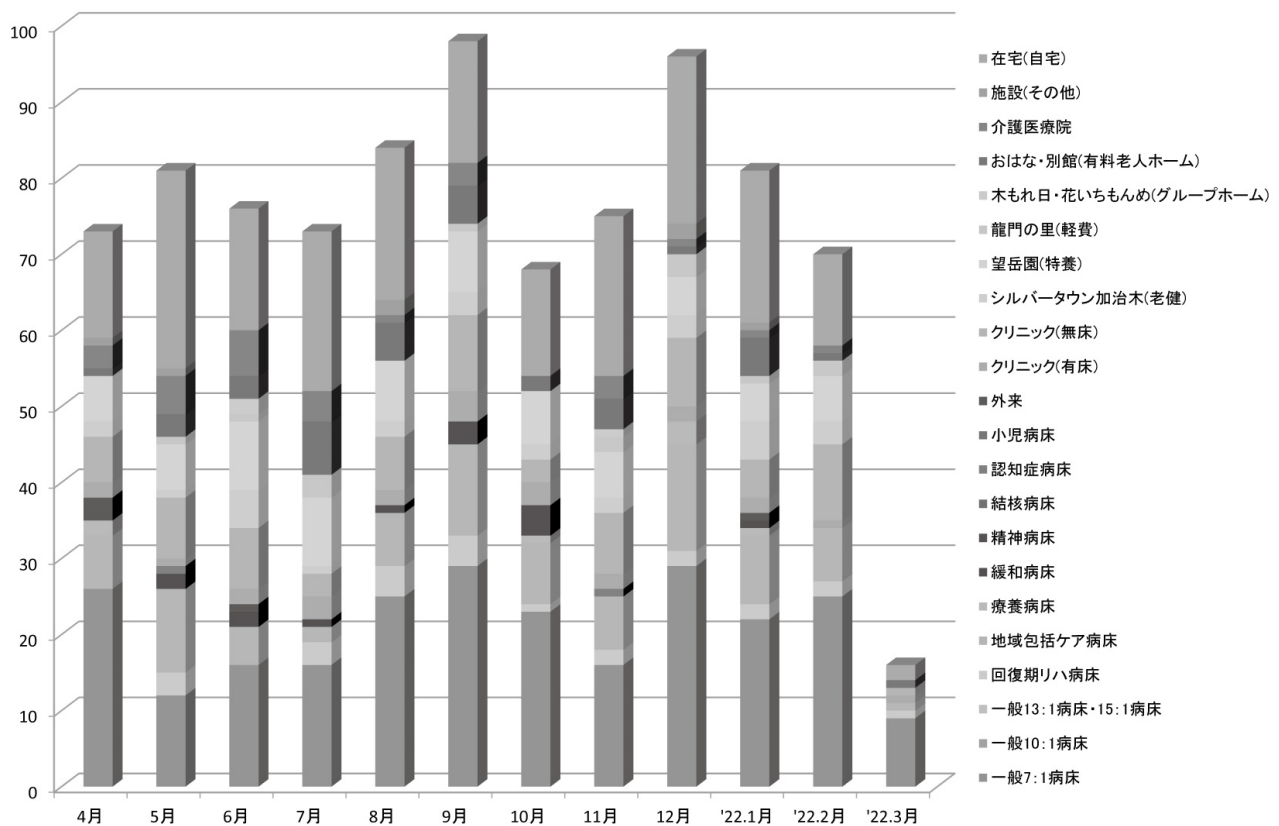


加治木温泉病院 統計

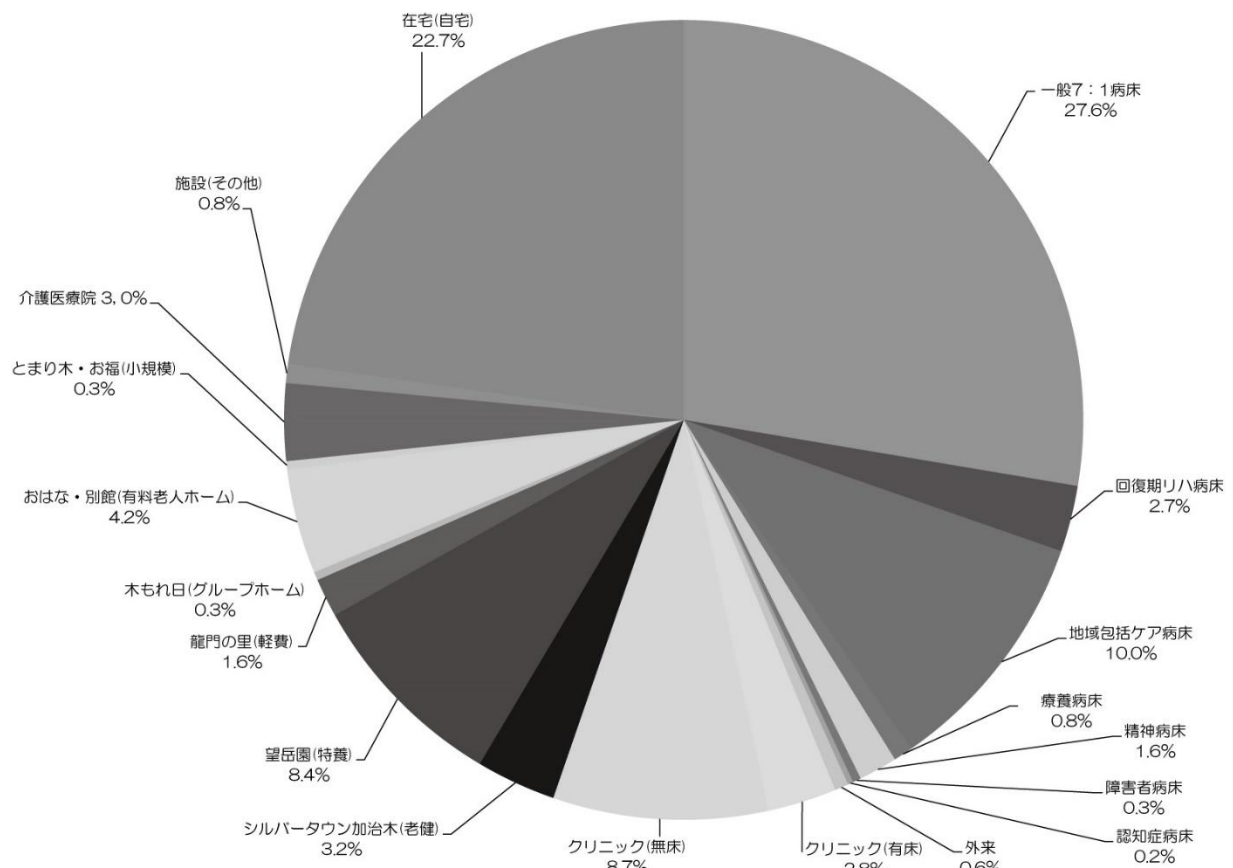
2021 年度 入院紹介元別件数・割合《病院》

病床・施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	小計	割合	グループ 合計	グループ 割合
一般 7 : 1 病床	26	12	16	16	25	29	23	16	29	22	25	9	248	28%	248	28%
一般 10 : 1 病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%		
一般 13 : 1 病床 15 : 1 病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%		
回復期リハ病床	0	3	0	3	4	4	1	2	2	2	2	1	24	3%	140	16%
地域包括ケア病床	7	11	5	2	7	12	8	7	14	9	7	1	90	10%		
療養病床	2	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	7	1%		
緩和病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%		
精神病床	0	2	2	1	1	3	4	0	0	1	0	0	14	2%		
結核病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%		
障害者病床	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0%		
認知症病床	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0%		
小児病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%		
外来	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	1%	5	1%
クリニック(有床)	2	1	2	3	2	4	3	2	2	2	1	1	25	3%	103	11%
クリニック(無床)	6	8	8	3	7	10	3	8	9	5	10	1	78	9%		
シルバータウン加 治木(老健)	2	1	5	1	2	3	2	2	3	5	3	0	29	3%	118	13%
望岳園(特養)	6	6	9	9	8	8	7	6	5	5	6	0	75	8%		
龍門の里(軽費)	0	1	1	3	0	1	0	2	3	1	2	0	14	2%		
木もれ日 花いちもんめ (グループホーム)	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0%	72	8%
おはな おはな別館 (有料老人ホーム)	1	3	3	7	5	5	2	4	1	5	1	1	38	4%		
とまり木 お福 (小規模)	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0%		
介護医療院	3	5	6	4	1	3	0	3	1	1	1	0	28	3%		
施設(その他)	1	1	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	7	1%	7	1%
在宅(自宅)	14	26	16	21	20	16	14	21	22	20	12	2	204	23%	204	23%
合計	76	81	77	73	84	98	69	76	96	81	70	16	897	100%	897	100%

2021 年度入院紹介元別件数・割合・グラフ《病院》



紹介元内訳《病院》



加治木温泉病院 統計

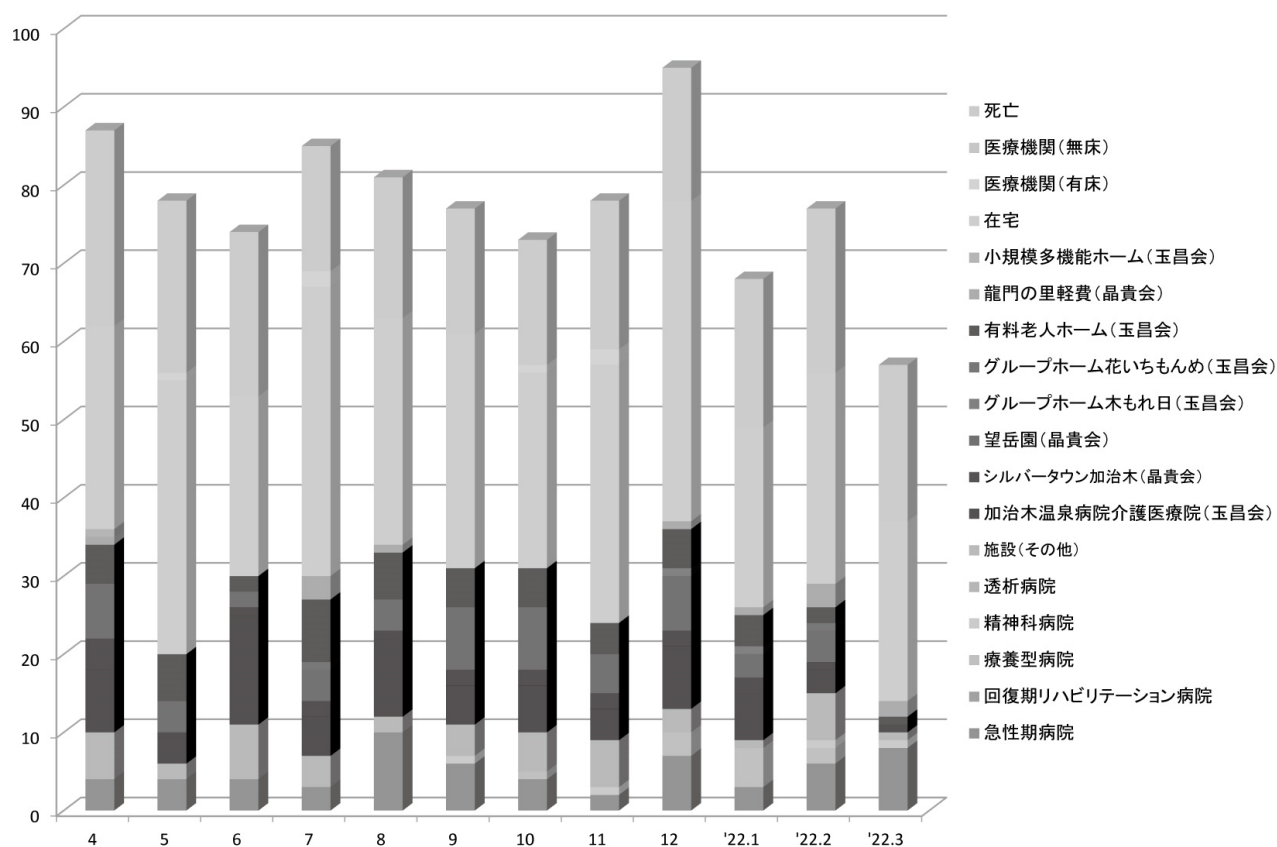
2021 年度 逆紹介先機関別《病院》

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
急性期病院	4	4	4	3	10	6	4	2	7	3	6	8	61
回復期リハビリテーション病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養型病院	0	0	0	0	0	0	1	0	3	5	2	0	11
精神科病院	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	4
透析病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設（その他）	6	2	7	4	2	4	5	6	3	1	6	1	47
加治木温泉病院介護医療院（玉昌会）	8	4	14	5	10	5	6	4	8	6	3	0	73
シルバータウン加治木（晶貴会）	4	0	1	2	1	2	2	2	2	2	1	1	20
望岳園（晶貴会）	7	4	2	4	4	8	8	5	7	3	4	0	56
グループホーム木もれ日（玉昌会）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
グループホーム花いちもんめ（玉昌会）	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
有料老人ホーム（玉昌会）	5	6	2	8	6	5	5	4	5	4	2	1	53
龍門の里軽費（晶貴会）	1	0	0	3	1	0	0	0	1	1	3	2	12
小規模多機能ホーム（玉昌会）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
在宅	26	35	23	37	29	30	25	33	41	23	27	23	352
医療機関（有床）	0	1	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0	6
医療機関（無床）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	25	22	21	16	18	16	16	19	17	19	21	20	230
合計	87	78	74	85	81	77	73	78	95	68	77	57	930

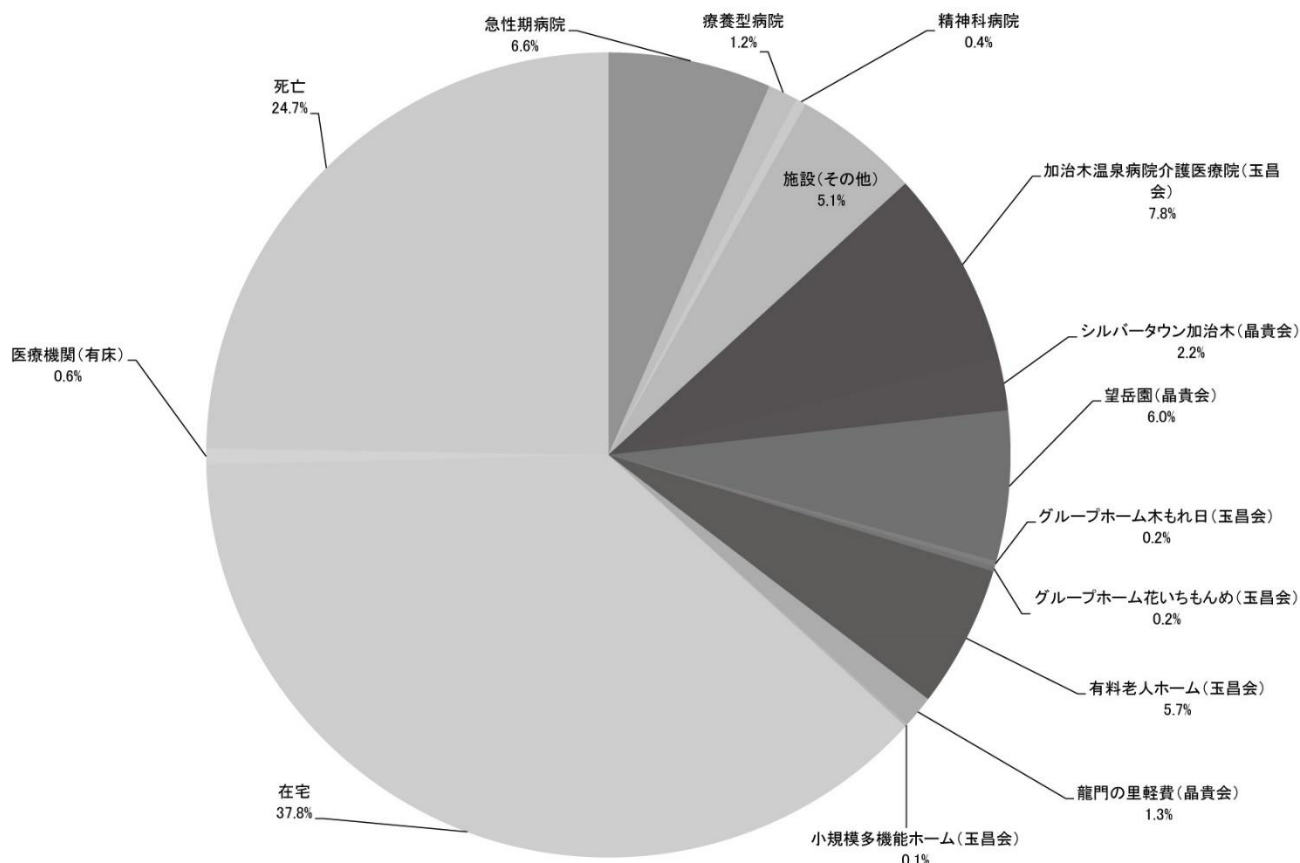
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

2021 年度 逆紹介（退院）先件数一覧《病院》



逆紹介先内訳《病院》



加治木温泉病院 統計

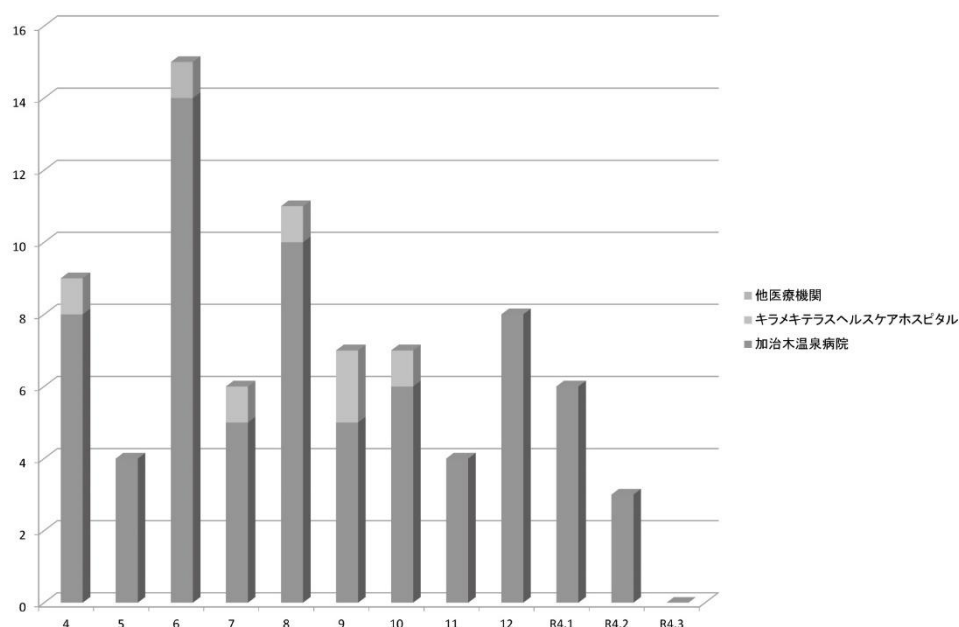
2021 年度 入院紹介元別件数・割合《介護医療院》

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
加治木温泉病院	8	4	14	5	10	5	6	4	8	6	3	0	73
キラメキテラスヘルスケアホスピタル	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	6
他医療機関	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	9	4	15	6	11	7	7	4	8	6	3	0	80

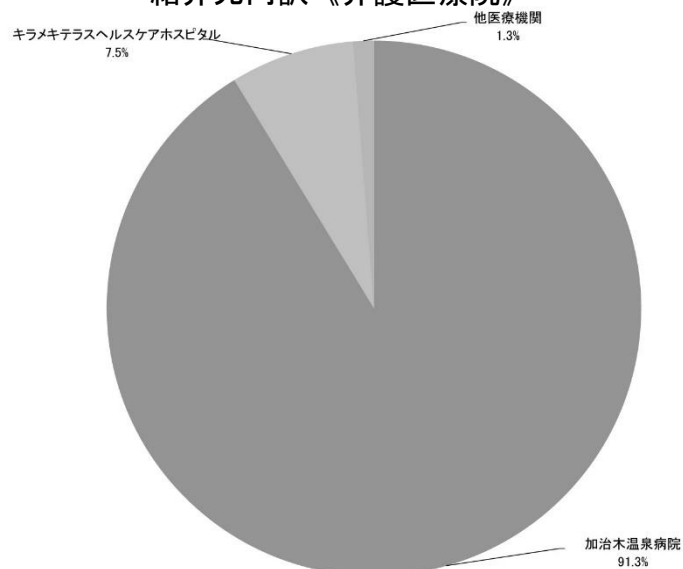
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2021 年度入院紹介元別件数・割合・グラフ《介護医療院》



紹介元内訳《介護医療院》



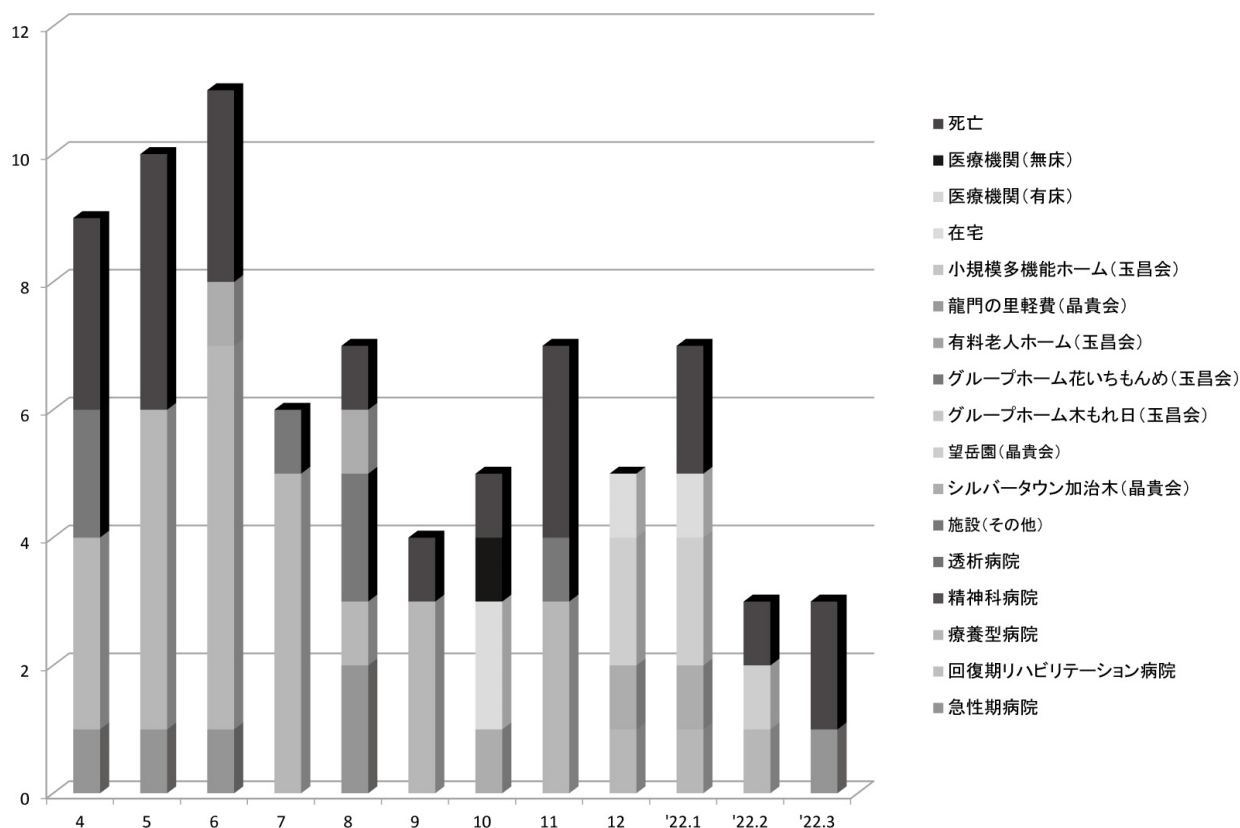
2021 年度 逆紹介先機関別《介護医療院》

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
急性期病院	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	6
回復期リハビリテーション病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養型病院	3	5	6	5	1	3	0	3	1	1	1	0	29
精神科病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設（その他）	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	6
シルバータウン加治木（晶貴会）	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	5
望岳園（晶貴会）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
グループホーム木もれ日（玉昌会）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム花いちもんめ（玉昌会）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有料老人ホーム（玉昌会）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍門の里軽費（晶貴会）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小規模多機能ホーム（玉昌会）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4
医療機関（有床）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関（無床）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
死亡	3	4	3	0	1	1	1	3	0	2	1	2	21
合計	9	10	11	6	7	4	5	7	5	7	3	3	77

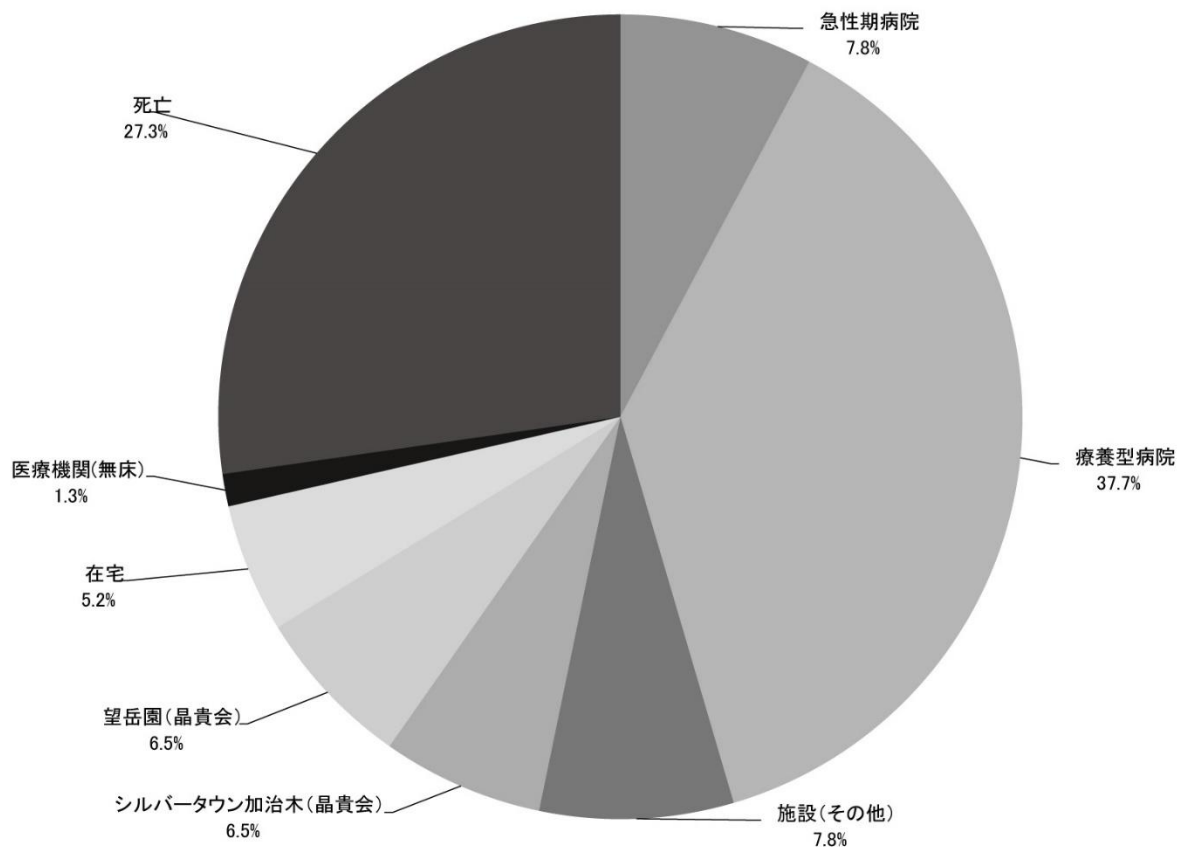
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関

機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'22 1月	'22 2月	'22 3月	合計
始良市・霧島市・鹿児島市以外医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2021 年度 逆紹介（退院）先件数一覧《介護医療院》

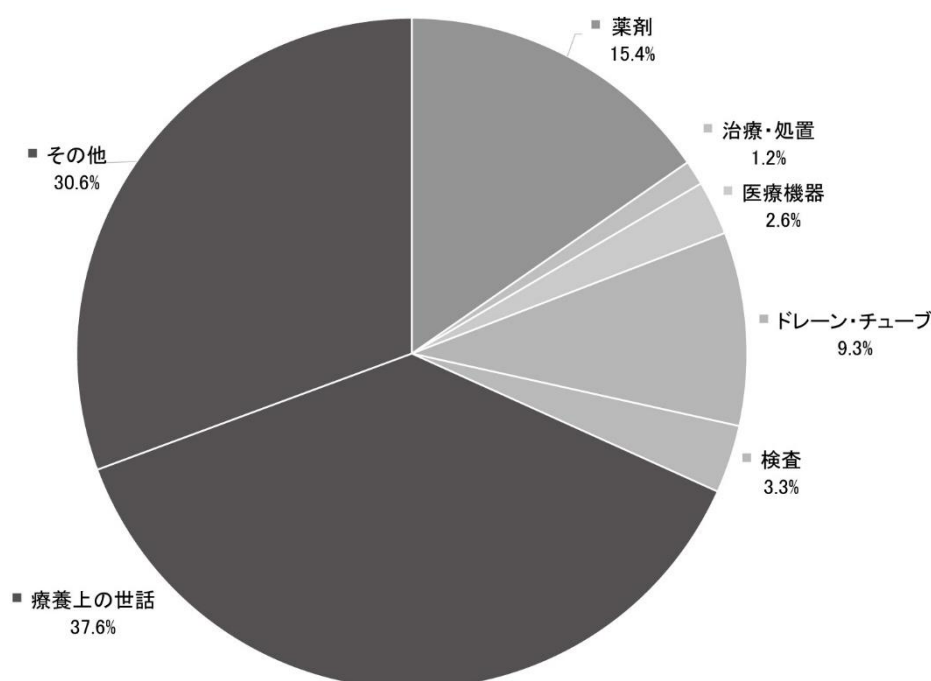


逆紹介先内訳《介護医療院》



2021 年度インシデント・アクシデント発生状況 医療部門

	インシデント	アクシデント
薬剤	200	6
輸血	0	0
治療・処置	9	7
医療機器	34	1
ドレーン・チューブ	108	17
検査	42	2
療養上の世話	417	88
その他	260	151

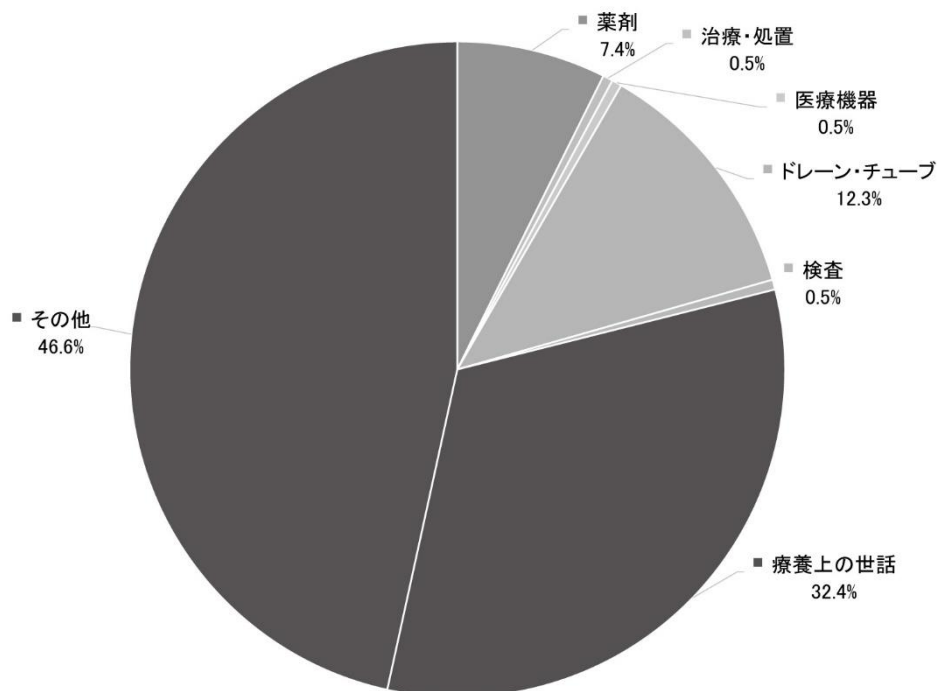


職種別発生件数（月別）

職 種	発件数		2021年度																																							
			年計		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月															
	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計									
医師	16	6	22	2		2	1	1	2				2		2	2	1	1	2	1			1	4		4	3	1	4	1	1	2	1	1								
看護師	671	139	810	38	11	49	65	14	79	56	17	73	42	9	51	70	13	83	55	13	68	57	8	65	46	15	61	54	10	64	61	8	69	58	11	69	69	10	7			
准看護師	66	12	78	2		2	9		9	9	1	10	4		4	7	1	8	4	3	7	6		6	5	4	9	4	2	6	5		5	6		6	5	1				
介護福祉士	114	65	179	7	10	17	11	11	22	14	5	19	5	7	12	20	11	31	12	10	22	6	4	10	6	3	9	2	1	3	5	1	6	9	2	11	17		1			
ケアワーカー	36	22	58	2	1	3	5	3	8	3	2	5	3	1	4	6	1	7	4	4	8	2	1	3	3	2					5	4	9	1	2	3	2	1				
リハ・スタッフ	54	19	73	8	3	11	3	1	4	2		2	6	2	8	6	1	7	6	2	8	4	1	5	4	3	7	3	4	7	7		7	3	3	3	2	2				
薬剤師	23		23	3		3	2		2	5	5					2		2	3	3	2		2	2		2								3		3	1					
栄養士	11	1	12	2		2	1		1				1		1	3	1	4	4		4																					
調理師調理師																																										
放射線技師	6		6	3		3						2		2																1												
事務	36		36	2		2	1		1	6	6	1	1	6		6	3		3	1		1	1	1	1	1	1	1	3		3	3		3	8							
臨床検査技師	4		4	1		1				1	1				1	1																			1	1						
歯科医師																																										
ME	11	1	12	1		1						1	1	2		2	3	3		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1			1						
心理	3		3									1	1	1		1																				1		1				
MSW	8		8	1		1	1		1			1	1		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1		1	1	1	1	1			
その他	12	7	19	2	1	3			2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		
	1071	272	1343	74	26	100	99	32	131	99	25	124	67	19	86	126	31	157	97	33	130	80	15	95	74	27	101	71	19	90	90	14	104	86	16	102	108	15	12			

2021 年度インシデント・アクシデント発生状況 介護医療院

	インシデント	アクシデント
薬剤	14	1
輸血	0	0
治療・処置	0	1
医療機器	1	0
ドレーン・チューブ	17	8
検査	1	0
療養上の世話	47	19
その他	38	57

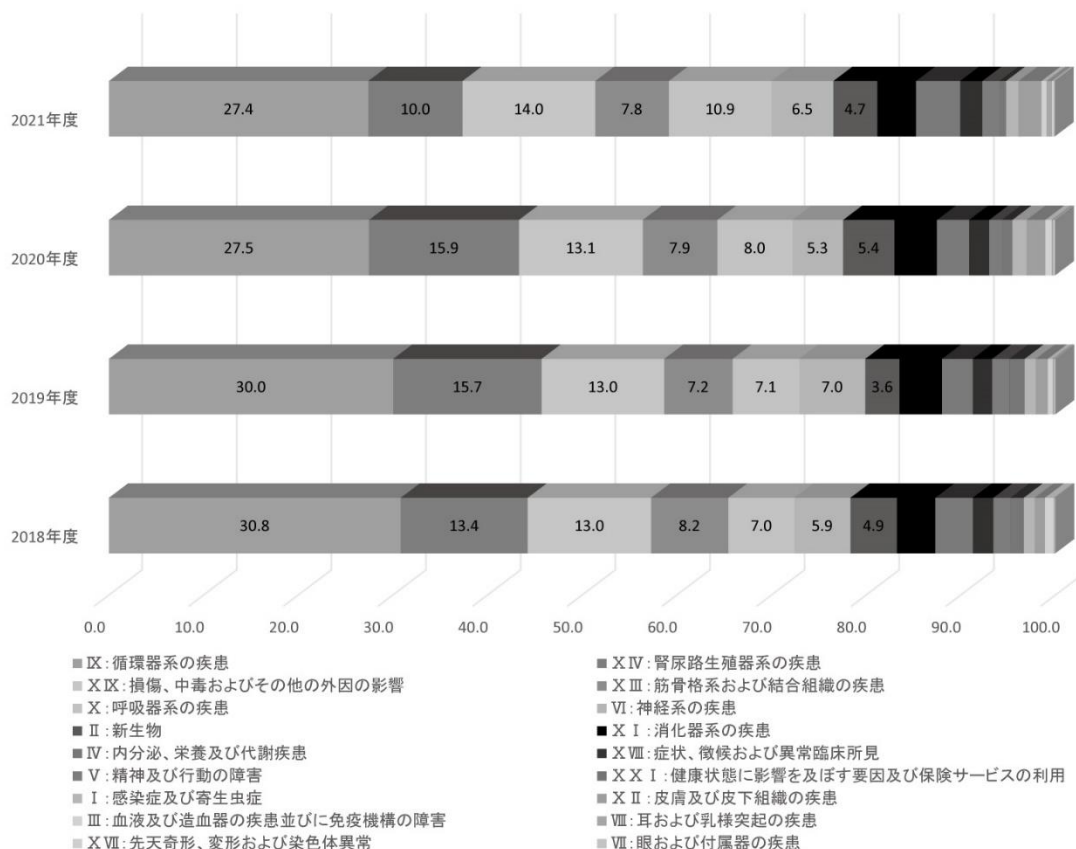


職種別発生件数（月別）

職 種	発生件数 年計			2021年度																																			
				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計	I	A	計			
医師	50	27	77	1	3	4	2	3	5	4	1	5	8	2	10	6	1	7	10	9	19	1		1	5		5	2	1	3	7	2	9	2	3	5	2	2	4
看護師	16	8	24		1	1			1	4	1	5	1		1	1		1	6	4	10												1	2	3	2		2	
介護福祉士	41	41	82	6	8	14	4	3	7	3	4	7	3	2	5	3	4	7	4	6	10	2	4	6	2	1	3	7	1	8	3	5	8		1	1	4	2	6
ケアワーカー	6	8	14	2	1	3	1	2	3	1	2	3																			2	2		1	1	2		2	
リハ・スタッフ	1	2	3																													1	1	2					
薬剤師	1		1																								1		1			1							
栄養士																											1		1										
調理師調理師																																							
放射線技師																																							
事務																																							
臨床検査技師																																							
歯科医師																																							
ME																																							
心理																																							
MSW																																							
その他	3	1	4																																				
	118	87	205	9	13	22	8	8	16	12	8	20	12	4	16	10	5	15	20	19	39	3	4	7	7	1	8	11	2	13	11	11	22	4	8	12	11	4	15

疾病別患者数年度別推移（2018 年度～2021 年度）

大分類名	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
IX：循環器系の疾患	183	150	116	120
XIV：腎尿路生殖器系の疾患	80	78	67	44
XX：損傷、中毒およびその他の外因の影響	77	65	55	62
XIII：筋骨格系および結合組織の疾患	48	36	33	34
X：呼吸器系の疾患	42	35	34	48
VI：神経系の疾患	35	35	23	29
II：新生物	29	18	23	20
XI：消化器系の疾患	24	22	19	18
IV：内分泌、栄養及び代謝疾患	24	16	15	21
XVIII：症状、徴候および異常臨床所見	13	10	9	10
V：精神及び行動の障害	11	9	6	8
XXI：健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	8	8	5	3
I：感染症及び寄生虫症	7	6	6	6
XII：皮膚及び皮下組織の疾患	7	6	8	11
III：血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6	3	3	2
VIII：耳および乳様突起の疾患	1	1	1	3
XVII：先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	1
VII：眼および付属器の疾患	0	0	0	0
XXII：特殊目的用コード	0	0	0	0
総計	594	500	423	439



加治木温泉病院 部門別活動報告

部門別活動のご紹介にあたって（玉昌会のBSC活動）

医療法人玉昌会では、Balanced Score Card（以下BSCという）を活用した部門別活動を展開しています。

※BSC（Balanced Score Card）＝組織のビジョンや戦略を4つの視点から具体的な目標や行動計画に視覚化し、実践し評価するための手法。

医療法人玉昌会のBSC運用スケジュール

2月：新年度の基本方針（法人・各地区・両院）発表
（合同スタッフ会議にて）



3月：前記方針に基づいた部門基本方針の立案



3月：具体的部署目標の設定並びに目標を達成するための具体的な施策内容と実施スケジュールの立案



4月：BSC事務局によるヒアリング、提出（PLAN）



4月～3月：施策の実施（DO）



9月、3月：結果とその評価（CHECK）



9月：BSCの修正（ACTION）



BSCの立案においては次の4つの視点区分がポイントとなります。

- A. 患者満足の視点
- B. 健全経営の視点
- C. 医療の質向上の視点
- D. 学習と成長の視点

この4つの視点区分にもとづいて、各部署で立案されたものです。

2 階南病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 職員の気付きを持つことへの取り組み

達成目標：医療での接遇と一般接遇を報告し、部署内に作成・掲示と周知

B-1. 稼働率

達成目標：平均稼働率 93.9%（上期 92.8%・下期 95.3%）病院全体の稼働増加の為に、2月はオーバーベットコントロール（100.7%）を実施

C-1. 合併症予防褥瘡発生率

達成目標：褥瘡発生率 2.34%

D-1. 環境の整備

達成目標：71件のレポート報告（上期 70件）電子カルテでの報告となり、情報共有は書面で記入

2). キャリアアップ

達成目標：管理者より医療・看護の質についてのキャリアアップにつながる動機付けの勉強会を実施

3). 看護職の倫理綱領

達成目標：倫理綱領の中から経験年数事のチーム構成を行い、看護職の倫理綱領 16項目を使用し、チーム事の勉強会を実施

【今年度を振り返って】

2021年度も、コロナ禍でも患者の尊厳や権利を尊重し、入院、転入後も安心・安全な医療・介護の提供が出来るよう患者・ご家族に寄り添い継続した看護・ケアを多職種と行えるよう努めました。しかし、院内で発生した新型コロナウイルス感染症が患者様、職員において数名発生しました。ゾーニングの確保、各部署から看護師応援チームの結成（10名で対応）を行い、医療材料の確保や、ガウンテクニックの徹底、保健所の指示に従い十分な感染対策に取り組み、多くの支援と連携を頂き終息することができました。今後も、スタッフ一同、更なる感染予防策の徹底を図り、患者様が安心して過ごせるように、又ご家族の気持ちに寄り添いながら、医療・看護を提供していきます。

2 階西病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 患者満足度の向上

達成目標：接遇に対する苦情 0件

B-1. 稼働率の向上

達成目標：稼働率 95%以上（入院患者数 56名維持）。

C-1. アクシデントの削減

達成目標：年間 160 件以上のインシデントレポート提出

D-1. 教育体制の強化

達成目標：病棟機能に特化した病棟内研修の実施

【今年度を振り返って】

令和3年は昨年に引き続きコロナ禍の中、感染対策を徹底し病棟機能の維持に努めて参りました。患者満足度の視点では、外出・面会中止となっており患者、家族が不安に感じる事のないように、ZOOM 面会や電話等で詳細をお伝えした。また洗濯物のお渡しの際などご家族・患者の状況を双方に伝えることで、安心して頂けるよう丁寧に取り組みました。アクシデントの削減に関しましては、患者様の安全を守るためにどんな小さなことでも情報共有し、インシデントレポートも年間 200 件以上の提出がありました。スタッフの安全に対するモチベーションも高く毎朝ディスカッションを実施しました。教育体制の強化に対しては、昨年度は感染対策の為病棟内研修会も中止になることがありました。しかし個々が目標を持ち、学びを深めており令和4年度新たに資

加治木温泉病院 部門別活動報告

格取得に向け取り組むスタッフもいます。まだコロナ禍の中ではありますが、1人1人の患者の気持ちに寄り添い、地域の皆様の為に安心できる看護、介護を提供して参ります。

2 階東病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 接遇に関する取り組み

達成目標：コロナ禍、面会中止の状況が続き、患者様やご家族にも我慢の状況が続いている。患者様やご家族から接遇に対する苦情の投書0件以下

B-1. 年間稼働率 94%以上

達成目標：年間稼働率 94%以上

B-2. 合併症予防・褥瘡発生率の低減

達成目標：褥瘡発生率 2.5%以下

C-1. インシデントレポートの積極的な提出

達成目標：インシデントレポート提出数 160 件以上。転倒転落のゼロレベル報告は 10%増加。アクシデント事例 15%以内。

D-1. 専門職納団体への加入推進・教育体制強化

達成目標：専門職納団体への加入 10%増加。倫理綱領（16 項目）に基づいた倫理検討会の実施。

【今年度を振り返って】

安全な看護の提供のために、コロナ禍ではあったが学研での研修参加に努め、院内の看護研究の取り組みで、口腔ケアに関する看護研究を行い、歯科衛生士の口腔ケア技術との比較を行いスタッフで共有した。次年度も行動指針を念頭に置きながら安心・安全な看護・介護を提供致します。

3 階南病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 患者満足の視点

達成目標：テルサコール・コールマットを設置し転倒予防を図っている。センサーマットカンファレンスを実施（毎週水曜日 16 時から行う。）することで不要なコールマットは取り除き、患者へ満足するケアを提供する

B-1. 稼働率の向上

達成目標：今年度の平均稼働率は 93%

C-1. インシデントレポートの積極的な提出

達成目標：1 年間で 160 件のインシデントレポートを提出。（0 レベルのインシデントレポートも提出）報告・共有することで再発防止につなげる

達成目標：アクシデント件数 骨折事例 0 件

D-1. 教育体制強化

達成目標：回復期病棟の特徴としている疾患などの勉強会を毎月スタッフ 1 名割り当て開催し、スキル向上を図る。（実施率 100%）

【今年度を振り返って】

回復期病棟の稼働率を上げる為、入院も断らず退院に関しては、MSW と日程調整を図り稼働率向上に努めた。しかし、回復期病棟でコロナウィルス感染が判明。入退院・リハビリテーションも実施できなくなり、入院患者様には多大なるご迷惑を掛けしてしまった。1人1人の感染に関する認識の薄さ、環境の消毒、1患者1手技ごとの手指消毒、スタッフ1人1人意識を高めて実践しなければならないこと、また加治木温泉病院の団結力の強さ・人の優しさなど得たものも多かった。

今年度も、スタッフ一致団結し患者自身を理解し、患者・家族が笑顔で生活できる支援を多職種で話し合い、提供していきたい。

3 階西病棟

【今年度の取り組み】

A-1. 接遇に関する苦情が発生しない

達成目標：個々の接遇強化に取り組み、患者様の視点に沿った看護・介護を提供する

B-1. 年間稼働留津 94%以上を目指す

達成目標：円滑な入退院（転入・転出）に対応するために業務の効率化に取り組み、看護補助者との業務分担・協働の推進に取り組む。

C-1. インシデント・アクシデントレポートの積極的な提出

達成目標：ヒヤリハット事例レベルからの報告書提出を呼びかけ、月に1回は提出し、インシデント・アクシデント事例の情報共有と対策の見える化を行う。

D-1. キャリアアップ支援

達成目標：院外研修会への積極的参加の呼びかけを行い、専門分野のキャリアアップ支援に向けた支援を行う。

【今年度を振り返って】

病床機能の再編が行われ、入院・退院・転棟件数が増加しましたが、患者様に安心・安全な医療・看護が提供されるよう、取り組んでまいりました。入院される患者様・ご家族様むけの病棟パンフレットを作成し、入院生活について説明を行うことで、安心感をもっていただけるように努めた。また、コロナ禍で面会ができない状況下であるため、ご家族様との情報交換を密に行いながら、「思いやり」「いたわり」「優しさ」の心をもって対応させていただいた。

今後も、患者さま・ご家族が安心して入院生活を過ごされますよう、患者さまに寄り添い、安心・安全な医療・看護・介護を提供していきたい。

介護医療院

【今年度の取り組み】

A-1. 接遇に関する苦情が発生しない

達成目標：接遇に関する苦情の投書満足度調査でのご意見ご指摘0件以下維持する。

B-1. 年間稼働率 96%以上

達成目標：年間平均稼働率 96%以上で推移する。

C-1. インシデントレポートの積極的な提出、アクシデント削減

達成目標：インシデントレポート 200 件以上、うちアクシデント 3 割以下。

D-1. 教育体制の強化

達成目標：個人目標立案し、7 割以上がキャリアアップ・スキルアップにつながる計画・実施が出来る。

【今年度を振り返って】

昨年度より、コロナ禍における面会制限をさせていただいている中で、WEB・ZOOM での面会を積極的に行った。しかし、県内での感染者数の増加でオンライン面会も中止させていただいている状況である。引き続き、病状の変化など、ご家族と密な情報交換を行っていく。令和3年度は、介護報酬改定もあり、感染症や災害への対応力の強化、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止の取組の推進、介護人材の確保、制度の安定性・持続可能性の確保を重視した改定であった。感染対策に対しては、職員一人一人の感染の対する意識の向上と感染発生時のマニュアルの整備を行った。自立支援に関しては、科学的介護の推進・LIFE へのデータ提出を定期的に行い、多職種が一体的な取り組みの推進を行っている。新電子カルテへ移行に伴い、書類の整理整頓、機能を有効活用するとともに、切れ目のない医療の提供や在宅への情報提供がスムーズに出来るように今後も継続していく。

外来

【今年度の取り組み】

- A-1. 患者満足度の向上
達成目標：接遇に関する苦情の投書件数 0 件。
- B-1. 加算取得率のアップ
達成目標：入院時支援加算 75%取得
- C-1. インシデント・アクシデント報告書の提出
達成目標：年間インシデント・アクシデント件数 60 件
- D-1. 専門職団体の加入促進・キャリアアップ
達成目標：看護協会入会率 40%
部署勉強会実施率 100%

【今年度を振り返って】

昨年に引き続き、コロナ禍であり、マスク装着や車中での診察などでコミュニケーションが十分にとれず苦慮する場面もあった。接遇に関しては、総合受付にコンシェルジュを配置し、患者様・ご家族より「待合室でよく声をかけてくれる」などの言葉を頂くこともあった。入院時支援加算の取得に関しては地域医療連携室と情報を共有し、取り組んだが外来スタッフへの周知・教育ができておらず、目標達成に至らなかった。コロナ禍で外部の研修参加も難しいことが多いため、自部署でできる勉強会の企画・実施を行い、質の高い看護・介護が提供できるように自己研鑽に努めていきたい。また、基本理念・行動指針を念頭に患者様の尊厳や権利を尊重したあたたかい看護の提供とチームワーク・職場環境の充実に努めていきたいと思う。

人工腎臓センター

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇に関する苦情が発生しない
達成目標：自部署で接遇に関する勉強会を 2 回行う
接遇に関する苦情 0 件
- B-1. 加算率のアップ
達成目標：血管エコーのできる看護師を 2 人以上育成する
血管エコー実施件数月に 8 件以上
- C-1. インシデントレポートの提出率の増加
達成目標：上期のインシデント・アクシデント提出件数 20 件
年間インシデント・アクシデント提出件数 40 件
- D-1. 研修会参加の増加
達成目標：透析についての専門的な研修会を月 1 回開催する
外部研修会に 1 人 1 回参加する

【今年度を振り返って】

コロナ禍において腎センターの感染対策の強化、患者様への感染指導に努めてまいりました。患者様指導においても DVD の活用や新たに作成したパンフレットを使用するなどコロナ禍での患者様への関わり方を新たにおこなっています。外来患者様が多い施設として、関連施設との情報共有、患者・家族教育に力を入れていく必要性を感じました。今年度は、ブラッドアクセスに関する手術室業務が腎センターの職員が関わることとなり専門知識の向上や意欲向上に繋げることができました。今後も、質の高い医療・看護を提供できるようスタッフ一同頑張っていきたいと思います。

臨床工学室

【今年度の取り組み】

A-1. 患者満足度の向上

達成目標：外来透析患者様の満足度調査の ME に対する意見・苦情を 0 件にする。

B-1. I-HDF、on-line HDF 施行患者の増加

達成目標：診療報酬を多く獲得する為に（主治医の意向に沿いながら）I-HDF、on-line HDF 施行の患者を 68%以上に増やす。

C-1. 医療事故、医療過誤の防止

達成目標：透析機器、ME 機器に関するインシデント・アクシデントを 0 件にする。

D-1. アクセス管理

達成目標：シャントエコーが行える技士を 1 名以上増やす。

D-2. 学会発表

達成目標：院外の学会・研究会で年 1 回以上の発表を行う。

【今年度を振り返って】

8 月より手術室が再開し、シャント関連手術 84 件に医師の補助業務として参加した。今後も手術依頼があれば積極的に参加していきたい。また、今年度から呼吸器装着患者様の入浴介助に臨床工学技士も参加している。今後も看護師や介護士が安心して患者様の入浴・清拭が行えるよう補助していきたい。今年度は ZOOM などを用いて学会や研究会に参加し、院内外での発表も行うことができた。今後も各自がスキルアップに努め、安心・安全な医療の提供に貢献していきたい。

総合リハビリテーションセンター

【今年度の取り組み】

A-1. 地域包括ケアシステムに関わることのできる人材（推進リーダー）を育成する

達成目標：地域リハ推進リーダーの取得のための方法の書面化と対象者の取得計画立案し地域リハ推進リーダーの資格取得者を昨年度より 3 名以上増加させる

A-2. コロナ禍における地域リハ活動チームを作り派遣体制をつくる

達成目標：地域リハ講師派遣依頼対応チームの人選、地域リハへの派遣ルールを策定し地域リハ派遣依頼のルールに従って地域の要請に 100%答える（コロナ感染対策の影響は除く）

B-1. 回復期病棟の平均提供単位を平均 7.3 以上提供する

達成目標：平均稼働目標の 93%の入院患者に 7.3 以上の単位が提供できるシステムを構築し（適正な配置人数の割り出し、提供方法の見直し）年間の回復期病棟平均提供単位数を 7.3 以上にする

B-2. 更なる収益向上の方法に取り組む

達成目標：更なる収益向上の方法を検討し確立し新しい方法（収益増出来る）でのリハビリテーション提供を開始する

C-1. 退院後の再入院を防ぐため、患者教育のための勉強会を定期的に開催する

達成目標：退院後の再入院を防ぐため、患者教育のための勉強会の開催計画を立て定期的に開催する

C-2. 病院機能評価機構の認定を更新する

達成目標：2021 年度現在の状況に適応する業務マニュアルに更新しリハセンターに関わる前回受審時の指摘事項や不足部分を改善する

D-1. ウィルス感染対策を実施しながら各部門の規定回数の定期勉強会を実施する

達成目標：今年度も引き続きコロナウィルス対策を講じつつ各部門の規定回数の勉強会を開催する

D-2. 各部門 1 演題以上発表する

達成目標：各部門 1 演題以上発表する

【今年度を振り返って】

2021 年度は、2020 年に引き続き、日々コロナ感染対策に注意を払いながらリハビリテーションに係る活動を行った。地域での連携を目指すという病院目標の視点では、当院が取り組んでいる地域リハビリテーション広域支援

センターとしての活動に関して、派遣人財の質の担保や人財を増やすため「地域リハ推進リーダー」研修の修了者を増やす取り組みを行った。今後、さらに地域で必要とされるリハ専門職として活躍できる人財育成に引き続き取り組んでいきたい。健全運営の視点では、現在あるマンパワーで最大のリハビリテーションが提供できるようスタッフの配置、病棟をまたいだスタッフのフォロー体制を毎日調整することで提供単位目標を達成できた。そして、医療の質の確保及び人材の育成という視点では、リハビリテーションの提供量だけでなくより質の高いリハビリテーションを提供できるよう、それぞれの部門での勉強会、研究発表、資格取得を計画的に遂行した。現在、リハビリテーションセンターでは、新たな取り組みとして、透析時のリハビリテーションの効果に係る取り組みや院内資格制度、リハビリテーション効果の記録・説明と同意等に利用するための動画記録、新たな患者満足度の向上のための取り組み等、新規の事業が目白押しである。併せて今年秋から2年後に行われる病院分割移転にむけリハビリテーションセンターとしての準備にも取り組んでいかなければならない。そのような目標を着実に進めながら、引き続き徹底した感染対策を講じながら安心・安全で患者満足度の高いリハビリテーションを提供していきたい。

総合リハビリテーションセンター 理学療法部門

【今年度の取り組み】

- A-1. 地域ケア会議や地域リハ活動の参加依頼に対応できる適切な人材を育成する
達成目標：POS協議会による「地域ケア会議推進リーダー」「介護予防推進リーダー」取得者を増やす
- A-2. 住民主体の通いの場づくりに協力する
達成目標：スタッフを人選しチームを作り、市への協力体制を確立し、通いの場へ派遣する
- B-1. 整形外科リハを充実させる
達成目標：前年対比10%増を目標に介入単位数を増やす
- B-2. 運動機器加算を算定・充実させる
達成目標：前年対比10%増を目標に算定・充実させる
- C-1. 家族勉強会の開催
達成目標：感染状況をみながら家族勉強会開催を行う
- C-2. 院内および院外にて1演題以上の学会発表を行う
達成目標：全国学会1演題以上、合わせて2演題以上発表する
- D-1. 登録理学療法士取得の推進
達成目標：理学療法士の半数以上が登録理学療法士の資格条件を取得する
- D-2. 臨床実習教育者研修への参加を促していく
達成目標：臨床実習教育者研修の修了者を5人増やす

【今年度を振り返って】

地域への活動として、より専門性の高いスタッフの派遣に向けて「地域ケア会議推進リーダー」「介護予防推進リーダー」の資格取得者の増加を図るため、登録申請の不備等がないように取得への工程のマニュアルを作成し、希望者が取得しやすいよう配慮を行い、資格取得が達成できた。その他の項目としては、昨年に続き臨床実習教育体制の構築を計画し、上期に臨床実習指導者研修参加の日程を調整したが、コロナの影響もあり研修開催が不透明となっていた。下期より研修開催側がWEB研修やしっかりと感染対策をとったうえでの対面研修など、対策を講じることで研修開催可能との連絡があり、可能ながざり多くのスタッフに参加できるように再度日程調整し、計8名修了者を確保することができた。2022年度より法律上、臨床実習を受け入れるうえでこの臨床実習指導者研修の修了は必須となるため、今後も指導資格を有するスタッフの充足と質の高い教育施設の環境体制作りに注力していき、職員がよりよい環境で仕事が行えるように取り組んでいきたい。

総合リハビリテーションセンター 作業療法部門

【今年度の取り組み】

- A-1. 地域ケア会議や地域リハ活動の参加依頼に対応できる人財を育成する。
達成目標：リハ部門全体の「地域リハ活動と臨床業務への適正な配分のルール」に沿って、講師派遣に対応する。

A-2. 地域ケア会議や地域リハ活動の参加依頼に対応できる人材を育成する。

達成目標：PTOTST連絡協議会による「地域ケア会議推進リーダー」「介護予防推進リーダー」取得者を1名以上増やす。

B-1. 年平均18.5単位以上のリハ実施提供（あるいは各病棟の目標数値を達成する）

達成目標：平均18.5単位以上の訓練を提供する。

B-2. 更なる収益向上の方法に取り組む

達成目標：小児リハ対応出来る人材を1名以上育成する。

C-1. 働きたいと思われる職場づくり

達成目標：OT版「基礎的業務内容チェックリスト」とマニュアルをプリセプターを中心に6名の新入職員へ運用する。（11月、1月に定期チェック・指導・実践調整）

C-2. 働きたいと思われる職場づくり

達成目標：「作業療法参加型臨床実習」のシステム（臨床技術チェックリスト・手引き書）について全実習（3校予定）終了後、実習担当者とOT役職者でミーティングを行い次年度以降の課題を抽出する。

D-1. 各部門が学習の機会を持てるように計画を立て実践する。

達成目標：新型コロナウイルス感染予防に配慮した内容にて症例検討会・もしくは勉強会（臨床経験5年以上のOT）を計画的に開催する。

D-2. 院内・院外にて1演題以上研究発表をする

達成目標：上肢リハ装置CoCoroe研究や上肢機能回復に関する研究を院内もしくは院外で1演題以上は発表する。

【今年度を振り返って】

今年度は、新人職員が6名入職し総勢32名の作業療法部門組織となった。新人職員の配置としては回復期に4名、医療・地域包括ケア病棟に2名配置され、入職時期より1年かけリハビリセンター・作業療法部門にて、新人教育プログラムを通して独り立ちできる人材を育成してきた。新人職員以外のスタッフの人材育成としては、「作業療法参加型臨床実習システム」と「臨床技術チェックリスト・手引き書」を用いて臨床実習・評価実習・見学実習を受けることで学生に指導すると共に、指導者自身も自己学習を行いスキルアップをはかることができた。コロナ感染予防に配慮した内容にて症例検討会や勉強会も実施でき、また需要が多い外来小児リハビリへの対応ができる小児リハスタッフ育成の流れをシステム化、実践し、現在では担当症例を10名担当するまでに成長させることができた。院内外の発表においてはコロナ禍の影響でオンラインでの発表2件、院内発表1件達成できた。今後も作業療法の専門性を高めることはもちろん、様々な分野で作業療法士が活躍・貢献できるよう人材育成を重視し、地域への参加・健全経営・医療の質の確保につとめてまいります。

総合リハビリテーションセンター 言語聴覚療法部門

【今年度の取り組み】

A-1. 地域包括ケアシステムに関わることでできる人材を育成する

達成目標：地域ケア会議に出席できる人材を5名以上確保する

A-2. 地域リハ活動内容を体系化し、計画的に人材を派遣する

達成目標：地域リハ事業の依頼に100%対応する（コロナ禍による外部要因の影響を除く）

B-1. 集団コミュニケーション療法を再開する

達成目標：集団コミュニケーション療法の算定件数が2019年度を上回る

B-2. 言語聴覚療法に係る診療報酬を安定的に算定する

達成目標：算定内の疾患別リハ料、摂食機能療料を安定的に算定する流れを体系化する

C-1. 摂食嚥下リハビリテーションの流れを体系化する

達成目標：回復期リハ病棟でKTバランスチャートを用いた評価を摂食嚥下障害患者の10%以上に行う

C-2. 病院機能評価機構の認定を更新する

達成目標：言語聴覚療法に関わる前回受審時の指摘事項や不足部分を全て改善する

D-1. 「認定言語聴覚士」の取得を推進する

加治木温泉病院 部門別活動報告

達成目標：言語聴覚士の半数以上が生涯学習プログラムの基礎プログラムを修了する

D-2. 学会発表・研究活動を推進する

達成目標：3 演題以上、学会発表を行う

【今年度を振り返って】

2021 年 10 月、加治木温泉病院は新電子カルテシステムへ移行した。電子カルテシステムと統合ファイリングシステムが医療と介護をつなぐ、新たなカルテシステムのプラットフォームが完成した。またリハビリ部門には iPhone が 60 台用意され、臨床の合間でカルテ入力や情報共有が可能となった。DX の実現に向けて大きく前進した年であった。

一方、反省点として、今年度も ST 部門の組織力の弱さが課題と考えられた。新型コロナウイルスの影響で交流の場が制約されていることも相まって、コミュニケーション不足を感じた。部門全体で年度目標を共有し、合理的、計画的に目標達成に向けて進めていきたい。

加治木温泉病院は、2 年後に病院移転を控えている。新たな環境で、ST 部門の強みを最大限発揮できるよう体制をさらに強化し、九州・全国に通用するリハビリテーションの展開を目指す。

総合リハビリテーションセンター 義肢装具部門

【今年度の取り組み】

A-1. 在宅部門の出向回数を増加。

達成目標：加治木・キラメキ両病院の業務を調整しながら安定的なシステム構築。

B-1. 装具作製に掛かる料金体系の見直し。

達成目標：既製品装具の販売について話し合いを設ける。

B-2. 装具採型料の算定の統一

達成目標：採型料含む装具作成の流れをつくり統一する流れを作り、運用開始する

C-1. 装具療法の向上（ルール作成）

達成目標：要否意見書、処方意見書、医証など装具に関わる書類のシステム化と運用

C-2. 装具療法の向上（装具診）

達成目標：常勤リハ医、鹿大出向リハ医を絡めたキラメキテラス版装具診の構築と運用

D-1. 義肢装具士の教育育成

達成目標：技術育成シート 2 年目、6 年目の P0 の技術指導用育成シートの作成を行い、運用を開始する。

D-2. 装具療法の向上・教育育成

達成目標：加治木・キラメキ双方で装具療法グループを立ち上げ、ZOOM で両院をつないだ勉強会定期的に行う（月 1 回）

【今年度を振り返って】

今年度は加治木温泉病院とキラメキヘルスケアホスピタルの両院で装具療法向上を図るべくチームの立ち上げと両院を ZOOM でつないだ勉強会を開催し、両院のセラピストの交流と装具療法の知識、技術の向上を図る事を目標とした。実際に勉強会を開始し、それぞれの病院の特性を把握し対応を行うことができた。また、加治木温泉病院とキラメキヘルスケアホスピタルで統一できていなかった義肢装具作製に関わる書類や個人情報の取り扱いに関し統一することができキラメキヘルスケアホスピタルの MSW が関わっている義肢装具の業務負担改善を行うことができた。キラメキヘルスケアホスピタルで装具診を開始し、今までセラピストだけで行っていた装具検討をリハ科医師、鹿大非常勤医師、セラピスト、院内義肢装具士、外部製作者と他職種で行うことができるようになり最適な装具検討を行うことができるようになったと思う。電子カルテも新しくなり両院で勤務する義肢装具士としては業務効率が上がり、在宅とも繋がったため今後の活動の場を広げていきたい。

臨床心理室

【今年度の取り組み】

A-1. 患者対応の充実

達成目標：新たな検査法の導入

B-1. 増収への工夫

達成目標：可能な限り実施した検査は算定する

【今年度を振り返って】

新たな検査法の導入については、小児リハビリ領域でニーズの高い検査を上半期中に導入・実施することができた。実施件数についてはわずかに目標に届かなかったが、ニーズのある対象児に対して実施することができたと思われる。今後もニーズのある対象児に積極的に検査実施の提案をし、検査を活用していきたい。検査の算定については、制度上の問題からこれまで算定漏れが生じることがあったため、算定の流れを見直し対策を検討した。また今年度から小児発達外来の診察日が増えたことで、算定可能なタイミングが増えた結果、前年度と比較して算定漏れの割合を減少させることができた。今後も取り組みを継続して、算定漏れを減らし、増収に寄与していきたい。

栄養室

【今年度の取り組み】

A-1. 食事満足度の向上

達成目標：入院時に病室訪問し、嗜好・摂取量を把握し、満足度の向上に努める。

B-1. 病院経営への貢献

達成目標：栄養食事指導料を年間 204 件以上算定する。

B-2. 病院経営への貢献

達成目標：栄養情報提供加算算定を 100%算定する。

C-1. 医療の質向上への取り組み

達成目標：栄養サポートチームで年間 115 件以上算定し、患者様の栄養状態改善に努める。

D-1. スタッフのスキルアップ

達成目標：院外(Web)研修会へ年 2 回以上参加し、所属内研修を 12 回以上開催する。

【今年度を振り返って】

今年度は感染対応による入院患者様以外は、100%病室訪問し、嗜好・摂取量・食事形態などを把握することができた。また、感染発生時には、即時にディスプレイ食器で対応し、食事を介しての感染拡大防止に努めることができた。経営貢献に関しては、栄養食事指導料の算定は 162 件と目標達成できなかったが、栄養情報提供加算は 100%算定できた。また、栄養サポートチームの加算算定件数も 70 件と目標達成できなかったが、患者様の栄養状態改善に努めた。今後も院内外の研修会に参加しスキルアップに努め、よりよい栄養管理が提供出来るよう取り組んでいきたい。

通所リハビリテーション

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者満足度の向上

達成目標：リハ会議家族が不参加の場合は、現状を電話にて報告。付き添い等の同意書を全員頂く。

B-1. 健全運営の視点

達成目標：3 名の移行支援ができ、通所リハ移行支援加算の取得ができる。

C-1. 医療の質の向上の視点

達成目標：インシデントレポート 100 件提出。

D-1. 学習と成長の視点

達成目標：介護保険必須項目として通所内で、身体拘束廃止・高齢者虐待防止、認知症についての研修会を開催し、100%参加する。

【今年度を振り返って】

- コロナのクラスターが発生し、1か月通所が休止になったが、再開後利用者のADLが低下していなかった。休止

中も自宅にて自主訓練を行っていたとのことで、日々の自主訓練の成果であると思われる。

- 杖等に自立度を色別でテーピングしたことで、転倒がなくなった。説明は実施したが、各自同意書を頂いているので、再度説明・同意を早急に実施する。
- 新型コロナウイルス感染予防対策にて、送迎時体温測定や、乗降時手指消毒を行った。マスクも常時着用し、密接な環境時は声かけを行いマスク着用促し慣れて頂いた。昼食前・おやつ前には手指消毒を実施し、食事中はアクリル板を設置し対策を行った。入浴時もゴーグルを装着した。送迎後は車両の消毒を行った。

薬局

【今年度の取り組み】

A-1. 入院患者への服薬指導の充実

達成目標：入院から退院までの間における服薬指導の流れを構築し、服薬指導を年間通算 1000 件目指す。

B-1. 薬剤費の削減

達成目標：当院採用薬について今年度発売される後発医薬品の 80% 以上を変更し、薬剤費の削減につなげる。

B-2. 処方薬剤の削減

達成目標：年間を通して薬剤総合調整加算 200 件および薬剤調整加算 50 件を目指す。

C-1. 新型コロナワクチン接種の構築

達成目標：ワクチン接種体制を構築し、基本型接種施設として適切なワクチン管理を行う。

D-1. 薬局勉強会の実施

達成目標：web 講演会などの受講を活用し、薬局勉強会を月 2 回継続して行う。

【今年度を振り返って】

今年度は服薬指導の充実を年間の目標として取り組み、上期は入院時から積極的に介入し服薬指導件数に繋がっていたが、下期より電子カルテが変更となり病院全体の入院時の流れが変わったこともあり、指導件数は年間 855 件に留まり目標を達成できなかった。薬剤費の削減については薬価改定後の各卸との価格交渉や、後発品への変更を積極的に行い、薬剤購入費の抑制に貢献できた。

また、今年度薬局が大きく関わった業務として新型コロナワクチンの管理が挙げられる。接種会場を設けた一般の方への接種の構築や、基本型接種施設として院内だけでなく近隣の医療機関に対してもワクチンを供給管理していたことから、地域医療にも大きく貢献できたと考える。

来年度も引き続き服薬指導の充実を目標とし、患者満足度の向上や病棟スタッフの業務削減・使用薬剤の削減・医療安全等に繋がっていききたい。

放射線室

【今年度の取り組み】

A-1. インシデント・アクシデントの提出

達成目標：インシデントを 5 件以上提出する。

B-1. 放射線被ばくの低減

達成目標：撮影条件を見直す。

C-1. 新たな業務の確立

達成目標：手術業務に代わる業務を確立する。

【今年度を振り返って】

電子カルテ及び PACS 変更によって、インシデントで 1 番多かった名前を入力ミスがなくなった。また、システム変更によりインシデント報告の書式が変わったため、慣れない事もあるが目標 5 件以上の提出は達成できなかった。改めてインシデントについての意識改革、書式の周知徹底を行うようにする。システム変更は全ての撮影条件を見直す機会となり、被ばくの低減は目標達成できた。脳ドックを開始するため検査手順やレポート書式を検討して、技師 3 名で行える体制も出来た。

今年度は HER-SYS 入力や Zoom 面会予約の日程調整を担当し、ワクチン接種会場の受付や PCR 検査キットの準備な

どコロナ関連でチーム医療として協力出来た。

検査室

【今年度の取り組み】

A-1. より安全、質の高い検査の提供

達成目標：内部精度管理及び外部精度管理ともに±2SD 内の測定値を目標とする。

B-1. 試薬のコスト削減

達成目標：各試薬使用状況を見直し、削減できる試薬の調整を行う。

C-1. 院内・院外の研修充実

達成目標：年間に6回以上の研修会参加を目標とする。

D-1. 心エコー・下肢静脈エコー検査の技術向上

達成目標：検査技師2名による、心エコー・下肢エコー検査のルーチン業務習得。

E-1. インシデント・アクシデントの提出

達成目標：インシデントの提出5件以上。

【今年度を振り返って】

内部精度管理は日常のメンテナンスの実施と適切な試薬管理により、良好な結果維持に繋がった。外部精度管理では、測定値に問題は無く、良好な結果を維持できた。フォトサーベイを苦手としており、来年度では改善できるよう、個々の技術向上の為に切磋琢磨していきたい。また、インシデント・アクシデントの報告を積極的に行い、業務効率化を目指していきたい。

特定健診室

【今年度の取り組み】

A-1. 特定保健指導の実施

達成目標：前年度末までに実施した方達を途中終了することなく最後まで支援し、完了する。また新規介入50名を目標とし、初回面談まで終了する。

B-1. 健診の拡大

達成目標：職員健診で35歳以上は協会けんぽ生活習慣病予防健診を利用。胃部検査実施人数50名を目標。また女性職員に対し、婦人科検診を案内・計画・実施。

B-2. 収入増

達成目標：収入を2020年度より5%アップする。

C-1. 航空身体検査の拡大

達成目標：件数を2020年度より5%アップする。

D-1. 知識の向上

達成目標：院内・院外研修会への積極的な参加と報告書の作成。

【今年度を振り返って】

スタッフの産休・育休による人員不足の中、業務を効率的に進められるよう工夫、また多部署からの協力もあり収入も件数も前年度より増加することが出来た。また下期より変更となった新規電子カルテ・健診システムのスムーズな稼働に向け準備を行い、稼働後は不足・不備な所に迅速に対応し運用へ繋ぐことが出来た。これに伴い測定室・事務室の場所を移動し、受診者やスタッフの導線が改善された。検査室と合同で院内研究『当院職員健康診断の現状～運動習慣との関連～』の発表も行うことが出来た。

2022年度も健診事業や健康増進事業に取り組み、職員や地域住民の健康管理や病気および介護予防、また5疾病の未病・予防に取り組んでいきたい。

歯科

【今年度の取り組み】

A-1. 入院から在宅までの歯科医療サービスを提供する。

達成目標：入院中に口腔内の改善に努め、歯科医療を提供する。退院後も口腔衛生、義歯管理が必要な患者様、ご家族に説明し切れ目のない歯科診療をしていく。訪問歯科診療の件数 30 件の維持、増加を目指す。

B-1. 患者様の増加

達成目標：入院時チェックの徹底、また現在入院中の患者様の口腔内の再評価を徹底し、患者様の初診件数、月 50 件以上を継続し、初診件数の増加を目標とする。また医科、歯科連携の一環である透析患者様の歯科介入の件数を増やすよう取り組む。

C-1. 専門領域の知識習得

達成目標：通年：インシデント・アクシデントの報告を月 2 件以上提出する。起こった事を部署内で検討し、未然、再発防止に努める。

D-1. 院内勉強会への参加率向上

達成目標：院内勉強会は 6 回以上、院外勉強会は 3 回以上出席する。

【今年度を振り返って】

コロナ禍での訪問診療の件数は未達成となったが、患者様の増加など目標達成することが出来た。今年度も件数、点数の増加に努め、外来、入院患者様や施設に入所されている患者様の口腔機能の改善に寄与することが出来た。今後も入院から在宅に移っても切れ目のない口腔管理を行うため、地域と密に連携し継続的な口腔管理ができる体制づくりに取り組んでいきたい。

地域医療連携センター

【今年度の取り組み】

A-1. スタッフのリスク意識向上にむけた取り組みの実践。

達成目標：インシデント・アクシデント報告を年間 15 件以上。全スタッフが 1 件以上、ヒヤリ体験を報告できる。

B-1. 将来の病院機能を見据えた病床機能再編への取り組みの実践。安定した経営への取り組みの実践。

達成目標：地域一般病棟入院料を 3→1 への類上げの実行。(在院日数 24 日以内の実績作り)
平均稼働 94.0%、330 床以上を達成する。

C-1. 地域共生社会における機能分化、地域連携促進の体制づくりに努める

達成目標：当院の診療機能では対応できない患者を除き、無床クリニックからの入院希望紹介患者のお断りをゼロとする。

年間 3 名以上、後方支援連携先からの入院患者を受け入れる。

後方支援連携先医療機関の新規獲得 1 件以上。

C-2. 在宅サービス事業部との連携強化

達成目標：退院カンファ実施率前年比 10%増。

介護保険対象者の法人内サービスへの紹介 37%を目指す。

D-1. スタッフの経営に対する意識向上

達成目標：介護連携指導料の算定を年間 18 件以上。

【今年度を振り返って】

昨年に引き続き、コロナ禍で患者様とご家族が長く面会できない状況が続いた。病院とご家族間の信頼関係構築を構築するために、より柔軟な対応の必要性を痛感する一年であった。スタッフの意識向上への取り組みとして、些細なことでも、インシデント報告を行うこととした。全員が 1 件以上の報告を行い、それをもとに業務改善や再発予防が行えた。入院について、上期は目標稼働率に届かない状況が続いたが、下期は近隣の医療機関がコロナ病床を開設した影響もあり、紹介患者が増加し高稼働となった。しかし、年間を通しては目標稼働率に届かなかった。後方支援連携先からの入院受入れは 21 名あり、新規連携先も 1 件契約することができた。今後も地域連携の窓口として、当院が地域における機能を発揮し貢献していけるよう、地域と当院をつなぐための活動を実行していきたい。

事務部門 医事係

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇の改善 患者満足度の向上
達成目標：患者満足度調査 75%。
- B-1. 診療報酬改定対応における増収対策
達成目標：介護報酬改定に対する知識の向上を図り、遅延なく届出を行い、算定を行う。
- B-2. 増収対策、安定経営への取り組み
達成目標：診療報酬に対して改善案を1つ提案する
- C-1. インシデント・アクシデントレポート提出の増加
達成目標：インシデントアクシデントレポート提出率 50%増
- D-1. 教育体制の向上
達成目標：レセプト減点率 0.14%以下

【今年度を振り返って】

電子カルテ入れ替えで業務が大幅に変わった中で、業務改善を行い概ね達成できた。

事務部門 クラーク係

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇の改善患者満足度の向上
患者様に寄り添った接遇に努め、向上及び改善に取り組めます。
- B-1. 増収対策、安定経営への取り組み
増収対策・安定経営
- C-1. インシデント・アクシデント
インシデント・アクシデントに関する理解を深め、意識の向上、改善に努めます。
- D-1. 医師の負担軽減
医師の負担軽減に努めます。

【今年度を振り返って】

新電子カルテ稼働に伴い、医師操作方法・医療クラーク操作方法の取得に努めた。
業務内容を見直し、効率よくまた個々のスキルアップができるような環境作りを目指した。令和4年2月から病棟クラーク（書類担当）と外来クラーク（秘書担当）に分けて業務を行っている。
今後も医師が働きやすい環境作りを目標に、目配り、気配り、心配りに気を付け頑張っていきたい。

事務部門 総務係

【今年度の取り組み】

- A-1. インシデント・アクシデント報告の徹底
達成目標：インシデント・アクシデントレポート提出昨年比+50%
- B-1. 働き方改革
達成目標：残業時間の削減 上期 6H・下期 8H
- C-1. 業務改善の見直し
達成目標：提出書類チェックリスト作成
- D-1. 教育体制の向上
達成目標：部署内勉強会 上期 2回以上・下期 4回以上

【今年度を振り返って】

今年度下期はインシデント・アクシデントレポート報告が電子カルテでの提出となり、事務部に電子カルテが1台しかなくタイムリーに作成が出来なかった為、来年度は電子カルテの使用方法を検討したい。提出書類の添付書類等、職員が困惑しないよう各提出書類チェックリストを作成し活用できた。部署内の勉強会で情報共有・自己啓発に努めた。来年度は日本医療機能評価機構の受審を控えているため、事前提出資料作成・環境整備等に努め更新を目指す。

事務部門 院内保育・学童係

【今年度の取り組み】

A-1. 保護者の満足度向上

達成目標：保護者との連絡手段として、保育 ICT サービスを活用する。

A-2. 保護者アンケート調査の実施

達成目標：保護者アンケートでニーズを把握し、改善に向けた意見交換を行う。

B-1. 業務の効率化

達成目標：職員の業務配分を見直し、一人あたりの残業時間を平均5時間に減らす。

C-1. 行事の内容の充実

達成目標：それぞれの年齢や発達に合った内容のイベントや製作活動を年間5回以上提案し実施する。

D-1. 院外研修会への参加率向上と報告会の実施

達成目標：院外研修会にひとり年間3回以上参加し、報告会を行う。

【今年度を振り返って】

今年度は、当法人医療チームのスタッフの皆様よりご尽力をいただき、インターネットを活用した保育にかかわる様々な業務の支援を図る保育 ICT システムを導入致しました。保育職員の日々の業務を軽減し効率化を図り、保護者にとってはスマホのアプリを利用することで利便性がアップし、大きなメリットが得られました。今後もより良い保育サービスを提供できるよう、保育の質を高めていきたいと思いをします。

2021 年度 委員会・会議 一覧

委員会名		開催日	目的
診療関係	診療情報管理委員会	第 4 火曜	診療録管理室の運営管理、診療録及び諸様式伝票類の検討等を行い、診療上の有効的効率的運営を図る
	診療情報提供委員会	カルテ開示要求時	診療情報の提供を適切に行うことを目的とする
	薬事委員会	2 ヶ月に 1 回	薬物療法の合理的発展を図る
	栄養管理委員会	第 3 木曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施することにより円滑で適性な運営を図る
	N S T 委員会	第 2 火曜	症例個々に適切な栄養サポートを検討・実施していくことを目的とする
	輸血療法委員会	2 ヶ月に 1 回	院内における輸血を安全かつ適正な輸血療法を推進し、輸血療法に関する事項について審議する
	臨床検査適正化委員会	2 ヶ月に 1 回	臨床検査の精度管理・運営の適正化に関して必要な事項を協議する
	コーディング委員会	年 2 回	標準的な診断及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディングを行う体制を確保することを目的とする
	口腔機能向上委員会	第 3 水曜	口腔に関する現状を討議し、健全に維持するために職員の知識・技術向上を図ることを目的とする
	回復期病棟運営会議	第 1 火曜	回復期リハ病棟業務の円滑な運営を図る
	F I M 会議	第 1・3 木曜	回復期リハ病棟入院患者のアウトカム評価対象者の選定、ADL（FIM 得点）の改善に基づいて予後予測し、適正な在院日数を検討することを目的とする
	地域包括ケア病棟運営会議	第 1 火曜	地域包括ケア病棟業務に円滑な運営を図る
	リハビリミーティング	第 1 火曜	リハビリテーション業務の円滑な運営を図る
	ベッドコントロール会議	毎週火・金	紹介入院に関わる内容を多職種で情報共有し、スムーズな支援・調整を図る
	透析運営会議	第 4 月曜	透析の円滑な運営および業務の適切な管理を図る
教育関係	手術室運営委員会	第 3 火曜	手術室の安全管理、感染防止、機械・備品の整備等について協議し、効率的な運営を図る
	倫理委員会	年 2 回	倫理上問題のある症例への対応および倫理に関する教育・研修などにより、患者様中心の医療を推進するために必要な事項を定める
	倫理検討会	第 4 月曜	院内における倫理的な事例等について、多職種で協議・検討し医療の質を改善することを目的とする
	サービス向上委員会	第 4 月曜	患者・ご家族より寄せられた意見・苦情・提案等に関して病院として真摯に取り組み、サービスの向上を目的とする
	個人情報管理委員会	3 ヶ月に 1 回	患者や職員等に関する個人情報適切に取り扱い、患者から信頼されることを目的とする
	教育委員会	第 2 月曜	職員の知識、技術の向上を目的とする
	看護部教育委員会(合同)	3 ヶ月に 1 回	看護職、介護職の知識・技術の向上と協同を目的とする
	看護部教育委員会(N s)	第 3 木曜	知識・技術の向上、主体性と自主性のある看護職の育成
	看護部教育委員会(CW)	第 1 木曜	介護職の知識・技術の向上を目的とする
	情報管理委員会	第 3 木曜	院内における情報管理業務の円滑な運営を目的とする
	機能評価委員会	第 1・3 水曜	安全で安心な医療が提供できるよう、日本医療機能評価機構の評価項目を用いながら、医療の質の維持や向上に向けた取り組みを行うことを目的とする

加治木温泉病院 各種委員会

医療安全対策関係	医療安全管理委員会	第2金曜	医療安全管理対策を総合的に企画、実施することを目的とする
	リスクマネジメント部会	第1月曜	医療安全管理対策を実行あるものとするを目的とする
	褥瘡対策委員会	第3・4火曜	褥瘡を予防することを目的とする
	身体抑制廃止委員会	第4木曜	身体抑制廃止へ向けて職員の意識向上を図る
	医療ガス安全管理委員会	年1回	医療ガスの使用上の安全確保を目的とする
	透析機器安全管理委員会	年1回	人工腎臓が安全円滑に行え、安心した透析を提供することを目的とする
	労働安全衛生委員会	第4木曜	職員の安全と健康を確保することによって病院業務の円滑な運営を図る
	防災・防火管理委員会	年1回以上	病院および職員寮における患者・職員等の生命・財産の安全確保を目的とする
	院内感染対策委員会	第3月曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	I C T (感染対策小) 委員会	第1月曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	看護部リスクマネジメント委員会	第3水曜	看護部のリスクマネージャーによる院内ラウンドやグループワークを通して安全活動を推進する
	看護部記録委員会	第2・4木曜	看護記録について勉強会や監査を行い記録の充実を図る
	マニュアル委員会	第4金曜	看護介護に関するマニュアルの見直し
その他	未収金会議	第4火曜	病院の未収金発生を抑制するための院内の諸手続きを定め、個人未収金の減少を目的とした未収金管理の確立及び維持のために必要な事項を定める
	親和会	年4回程度	会員相互の親睦を図る
	エコアクション委員会	2ヶ月に1回	持続可能な社会を構築するために、院内外のエコ活動に取り組み、エコアクション21認定及びその更新を目的とする

地域リハビリテーション広域支援センター事業

2021 年度 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域 地域リハビリテーション広域支援センター活動

加治木温泉病院は 2002 年に鹿児島県より始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センターとして指定されております。始良市・伊佐地域でのリハビリテーション技術支援、研修会の開催、地域住民の方の相談対応、地域包括ケアシステム構築のための協力活動を行っております。2021 年度も、昨年度に続きコロナ禍での地域リハビリテーション支援活動を行うこととなりました。このような中ではありますが 2021 年度の地域へのリハ専門職の派遣は各機関のご協力の下、コロナ対策のため開催中止となったものを除き最終的には延べ 75 名（コロナ禍前 2019 年度 181 名）を派遣することができました。各関係機関の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。2021 年度の活動内容は表の通りです。

表. 2021 年度 始良・伊佐圏域地域リハビリテーション広域支援センター活動

地域住民およびリハビリテーション従事者を対象とした研修会等				
年月日	対象（人数）	テーマ		講師
R3. 4. 23	ひまわりハウス萩原・住民（10 名）	講話「加齢や活動量不足による筋力低下について」体操		PT2 名
R3. 6. 25	ひまわりハウス萩原・住民（9 名）	講話「食事を安全に食べられる、飲み込める状態を継続するためにできること」他		ST2 名
R3. 12	特別養護老人ホーム加治木望岳園（42 名）	摂食嚥下障害の基礎と対応		ST1 名
退院後自立支援サービス※				
R3. 4～R4. 1 現在	エリア：始良市、霧島市、湧水町、鹿児島市	1 件	当院内外の自宅退院者	
市町等・リハ関連施設への技術支援				
期間	内容		職種	
R3. 4. 1～全 24 回	霧島市児童発達支援事業所発達支援事業		ST 延 24 名	
R3. 4. 20～全 12 回	始良市母子健康相談		PT 延 11 名	
R3. 5. 19～全 18 回	始良市発達支援教室		OT 延 10 名	
R3. 5. 18～全 4 回	始良市教育支援委員会		OT 延 4 名	
R3. 11. 25	県整形外科医会（県委託）ロコモフレイル予防啓発促進事業		PT2 名	
R3. 11. 17	湧水町介護支援専門員勉強会「口腔・嚥下機能について」		ST1 名	
R3. 12. 17	湧水町介護支援専門員勉強会「ストレスマネジメント—対人援助職のマインドフルネスについて—」		臨床心理士 2 名	
R3. 11. 22	始良・伊佐圏域リハビリテーション活動促進検討会・研修会		ST1 名	
R3. 6. 17～全 7 回	始良市地域ケア個別会議		OT5 名、ST7 名、歯科衛生士 2 名	

加治木温泉病院 学術活動 院内研修

■全職員向け

2021 年度

開催月日	研修内容	講師	参加人数		研修分類
			病院	在宅	
4 月	チーム医療を成功させる	学研ナーシング	359 77.9%	0 0.0%	チーム医療
5 月	基礎から学ぼう！医療安全	学研ナーシング	341 58.5%	0 0.00%	医療安全
5 月	臨床倫理入門	学研ナーシング	316 55.4%	0 0.00%	医療倫理
6 月	医学編Ⅰ 認知症の原因疾患と病態・治療	学研ナーシング	353 61.3%	0 0.00%	認知症・高齢者
6 月	接遇・マナーの基本	学研ナーシング	360 62.3%	0 0.00%	接遇
7 月	これもハラスメント？ 正しい理解と適切な対応法	学研ナーシング	333 57.6%	0 0.00%	エッセンシャル コース
7 月	守秘義務、個人情報保護の基礎知識	学研ナーシング	354 61.2%	0 0.00%	個人情報
8 月	コロナウイルス対策について	薬局 小杉薬局長 (ビデオ視聴)	364 63.7%	0 0.00%	感染対策
8 月	交通安全	ビデオ視聴	306 53.3%	0 0.0%	交通安全
9 月	医療職に必要な 「社会人基礎力」の育て方	学研ナーシング	242 42.8%	0 0.0%	社会人基礎力
9 月	災害を理解し、これからの医療体制をつくる	学研ナーシング	242 42.7%	0 0.00%	災害対策
10 月	多職種で取り組む転倒・転落、 ヒヤリ・ハット防止	学研ナーシング	344 62.7%	0 0.0%	医療安全
10 月	チーム医療におけるタスクシェア	学研ナーシング	279 51.1%	0 0.0%	チーム医療
11 月	感染経理別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	学研ナーシング	369 62.4%	0 0.00%	感染対策
11 月	医療制度の概要および 病院の機能と組織の理解	学研ナーシング	276 %	0 0.00%	看護補助者 研修
12 月	認知症とせん妄-症状と心理状態を知る	学研ナーシング	261 46.0%	0 0.00%	看護補助者 研修
12 月	地域と連携して子ども虐待をケアする	学研ナーシング	237 41.8%	0 0.00%	中堅コース
1 月	2020 年 4 月医療法改正に伴う 診療放射線の安全管理の理解	学研ナーシング	364 65.6%	0 0.00%	院内全体 研修
2 月	災害発生時の初動体制～病院での対応～	学研ナーシング	214 38.7%	0 0.00%	災害対策
2 月	SDGs ってなんだろう？	ビデオ研修	219 38.7%	0 0.00%	エコアクション
3 月	医療ガス	パワーポイント 資料	252 46.2%	0 0.00%	医療ガス
3 月	安全で効果的な薬物療法のために 看護師が身につけたいこと	学研ナーシング	250 45.6%	0 0.00%	基礎習得コース

■症例報告・最新情報カンファレンス

加治木温泉病院の症例カンファレンスは、治す医療から治し支える医療への医療の概念の変化に伴い、激変する医療・介護・福祉情勢を考慮し、会に参加する医療従事者並びに事務系の職員、多くのステークホルダーの方々が医療・介護・福祉・社会制度・社会的知識等の理解と見識を相互に深めることを目的とし、発表者が経験した症例や考察、専門知識等の発表並びに発表者が興味を持つ医療・介護以外の領域の発表も行っております。

開催月日	研修内容	講師	参加人数
			病院
7 月	医療安全	夏越院長	320
			56.4%
9 月	輸血について	折田副院長	249
			45.3%
10 月	高齢者における便秘症	濱田副院長	247
			44.9%
11 月	高齢者のポリファーマーシーと薬物療法の適正化について	穂満副院長	244
			44.0%
12 月	ヘリコバクターピロリ菌と胃疾患	松田診療部長	221
			40.1%
3 月	経鼻胃管の位置確認に関する検討	堀ノ内医師	211
			38.4%

■研究発表会

第 9 回 コメディカル研究発表会

開催日 2022 年 1 月 19 日（水）

会 場 加治木温泉病院 1 階食堂談話室

演題名	演者
ウェアラブルデバイスを用いた活動量モニタリングの効果 -遠隔リハビリテーションの実現に向けた予備的研究-	総合リハビリテーションセンター 藤本
当院職員健康診断の現状 ～運動習慣との関連～	検査室 中釜
アンケートからみる当院の評価、今後の地域医療活動	地域医療連携センター 南
WISC-IV における能力の偏りと 日常生活での困り感との関連について	心理相談室 川ぞえ※ぞえはしに 乗
シングルニードル透析における透析率の検討	臨床工学室 梅橋

第 20 回 看護研究発表会

開催日 2021 年 12 月 23 日（木）

会 場 加治木温泉病院 1 階食堂談話室

演題名	演者
胃瘻交換関連業務の標準化	外来 瀬戸山
シャントエコーの技術習得に向けた取り組み	腎センター 高橋
口腔ケア定着への取り組み	2 階南病棟 芝
オンライン退院支援の試み	3 階南病棟 丸田
コロナ禍における患者のキーパーソンの抱えている不安・要望を明らかにする ～半構成的面接法によるインタビューを用いて～	2 階西病棟 印南
もう一度、口から食べる幸せや喜びを感じてもらう為に ～言語療法士との情報共有を行って～	介護医療院 竹田
終末期ケアの質向上を目指したデスカンファレンスへの取り組み	3 階西病棟 今藤
口腔ケアの質向上を目指した歯科衛生士との手技の比較	2 階東病棟 古川

第 23 回 始良地区研究発表会

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、前年度に引き続き、3 月に予定しておりました院内研究発表会開催を延期しております。

看護部

月 日	学校名	参加人員
5月10日～5月11日	龍桜高校 専門課程 2年生（在宅看護論実習）	9名
7月5日～8月12日	龍桜高校 専門課程 2年生（在宅看護論実習）	15名
9月21日～10月28日	龍桜高校 専門課程 2年生（在宅看護論実習）	15名
11月1日～11月17日	龍桜高校 基礎課程 3年生（成人実習）	27名
11月24日～12月10日	龍桜高校 基礎課程 2年生（基礎看護）	23名
	計	89名

総合リハビリテーションセンター

月 日	学校名	参加人員
5月24日～7月2日	鹿児島大学 P T	2名
5月17日～7月9日	鹿児島医療福祉専門学校 P T	1名
7月5日～8月28日	神村学園専修学校 P T	1名
7月19日～9月11日	第一医療リハビリ専門学校 P T	1名
7月20日～9月10日	鹿児島大学 P T	1名
11月8日～11月26日	九州栄養福祉大学 P T	1名
11月22日～12月18日	神村学園専修学校 P T	1名
6月28日～8月7日	鹿児島大学 O T	1名
7月26日～9月17日	鹿児島医療技術専門学校 O T	1名
8月23日～10月2日	第一医療リハビリ専門学校 O T	1名
(R4)2月14日～3月5日	第一医療リハビリ専門学校 O T	2名
5月17日～7月9日	県立広島大学 S T	1名
8月23日～10月31日	九州保健福祉大学 S T	1名
7月5日～8月22日	国際医療福祉大学 S T	1名
9月6日～11月5日	県立広島大学 S T	1名
10月4日～11月5日	九州保健福祉大学 S T	1名
	計	18名

臨床工学技士

月 日	学校名	参加人員
9月27日～10月8日	鹿児島医療工学専門学校 臨床工学学科 3年生	2名

加治木温泉病院 実習受入れ

放射線室

月 日	学校名	参加人員
9 月 6 日～10 月 1 日	鹿児島医療技術専門学校 診療放射線学科 4 年生	1 名
10 月 4 日～10 月 29 日	鹿児島医療技術専門学校 診療放射線学科 3 年生	1 名

栄養室

月 日	学校名	参加人員
2 月 7 日～2 月 18 日	鹿児島純心女子大学	1 名

地域医療連携センター

月 日	学校名	参加人員
7 月 26 日～8 月 26 日	九州医療専門学校（社会福祉士）	1 名

医事

月 日	学校名	参加人員
5 月 17 日～6 月 11 日	鹿児島キャリアデザイン専門学校	2 名